



異業種交流活性化支援事業

10年間の歩み

(平成 26 年度～令和 5 年度)

令和 6 年 2 月

公益財団法人ひょうご産業活性化センター

目

次

1	はじめに	P 1
2	「異業種交流活性化支援事業」の概要	P 2
	(1) 事業の趣旨	
	(2) 補助対象者	
	(3) 事業の概要・実施期間	
	(4) 「異業種交流活性化支援事業」の仕組み	
3	ひょうご産業活性化センターによる支援内容	P 4
	(1) 異業種交流活性化支援会議の開催	
	(2) 異業種交流のすゝめミーティングの開催	
	(3) 「国際フロンティア産業メッセ」への出展支援	
	(4) 課題解決セミナーの開催	
	(5) 異業種連携アドバイザー現地巡回訪問指導の実施	
	(6) 活動事例集の作成・配布及びホームページ等での情報発信	
4	新規採択件数の推移	P 6
5	異業種交流グループのアンケート調査結果	P 7
6	異業種交流グループの活動概要	P 9
	<兵庫県商工会議所連合会関係>	3 グループ
	<兵庫県商工会連合会関係>	4 グループ
	<兵庫工業会関係>	1 グループ
	<兵庫県中小企業団体中央会関係>	1 グループ
	<ひょうご産業活性化センター関係>	1 グループ
7	関連資料	P 12
	○異業種連携アドバイザーの推移	
	○年度別採択グループ一覧	
	○異業種交流グループ（令和3～4年度活動）のアンケート調査結果	

兵庫県内では、異業種交流が盛んに実施されています。中でも、商工会議所、商工会、兵庫工業会、兵庫県工業技術振興協議会、兵庫県中小企業団体中央会の各会員企業、ひょうご産業活性化センターの関係企業等によるグループが、各団体によるサポートのもと活発に活動しています。

ひょうご産業活性化センターでは、このようなグループの活動をさらに促進するため、マーケット・インの視点から新商品・新サービスの開発や販路開拓など新規事業にチャレンジする取組に対し、「異業種交流活性化支援事業」として、兵庫県商工会議所連合会や兵庫県商工会連合会の協力も得つつ、平成 26 年度から支援してきました。

これまで県内各地域で 271 の異業種交流グループを支援し、地域資源を活用した商品開発や地場産業の新たなブランドづくり、SDGs の観点による製品化、新技術の活用、生産工程の改善など、多岐にわたる異業種連携が展開されてきました。グループの中には、マーケティングやデザインの専門家なども加えて具体的な目標を定めた活発な議論を行い、地域の特産品の開発や新たなブランド化などに取り組み、市場の開拓、地域の活性化に貢献している事例も多くみられます。

このように、「異業種交流活性化支援事業」は一定の成果を得たことから、令和 4 年度をもって新規採択を終了し、事業に区切りを付けました。今後、異業種交流の一層の充実と向上に向けた取組は、令和 5 年度に創設された兵庫県の「ひょうごオープンイノベーション推進事業」に委ねることとしました。

このたび、本事業を終了するに当たり、これまでの事業活動の内容や成果をまとめた「異業種交流活性化支援事業 10 年の歩み」を作成しました。10 年間の成果を基盤として、今後の異業種交流が一層充実・発展していくことを祈念します。

1 事業の趣旨

マーケット・インの感覚で消費者視点に立ち、従来の技術中心の異業種交流だけではなく、サービスや商業などのソフト事業も含む幅広い分野においてビジネスパートナーや事業連携の可能性を発掘する取組を支援し、新分野進出、新商品・新サービス・新技術開発、販路開拓等の促進を目指すものです。

2 補助対象者

県内の商工会議所、商工会、兵庫工業会、兵庫県工業技術振興協議会、兵庫県中小企業団体中央会の会員企業、ひょうご産業活性化センターの関係企業を中心メンバーとして活動する異業種交流グループ（※各商工会議所、各商工会は、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会を通じて補助）

※なお、兵庫県中小企業団体中央会の異業種交流グループは平成29年度から現在まで、ひょうご産業活性化センターの異業種交流グループは令和2年度から令和4年度まで（新規採択は令和3年度まで）補助対象者となっています。

3 事業の概要・実施期間

①対象事業

異なる業種の中小企業者等で構成されるグループが実施する新分野進出、新商品・新サービス・新技術開発、販路開拓等をテーマにした異業種交流事業

＜対象事業例＞

- ・新分野進出等を目指して新たな関係性を構築するために行う交流会
- ・新分野進出等を目指して特定のテーマを設定して取り組む勉強会
- ・ビジネス化に向けて、異業種の企業等が連携して行う研究・開発や販路開拓 など

②支援の内容

○異業種交流事業に必要な経費の補助

- ・補助期間：2年以内
- ・補助額：1グループあたり上限額 1,500千円／2年間（補助率：定額）

※平成29年度からステップアップ枠が創設され、上記の補助期間を終えるグループのうち、①商品・サービスが開発済（試作品含む）で、販路開拓の段階にある取組、あるいは、②補助期間内に開発・販路開拓した商品・サービスに加えて、新たなラインナップを開発・販売する取組を行うグループの中から選定されたものに対して、さらに2年間1,500千円の支援を行った。

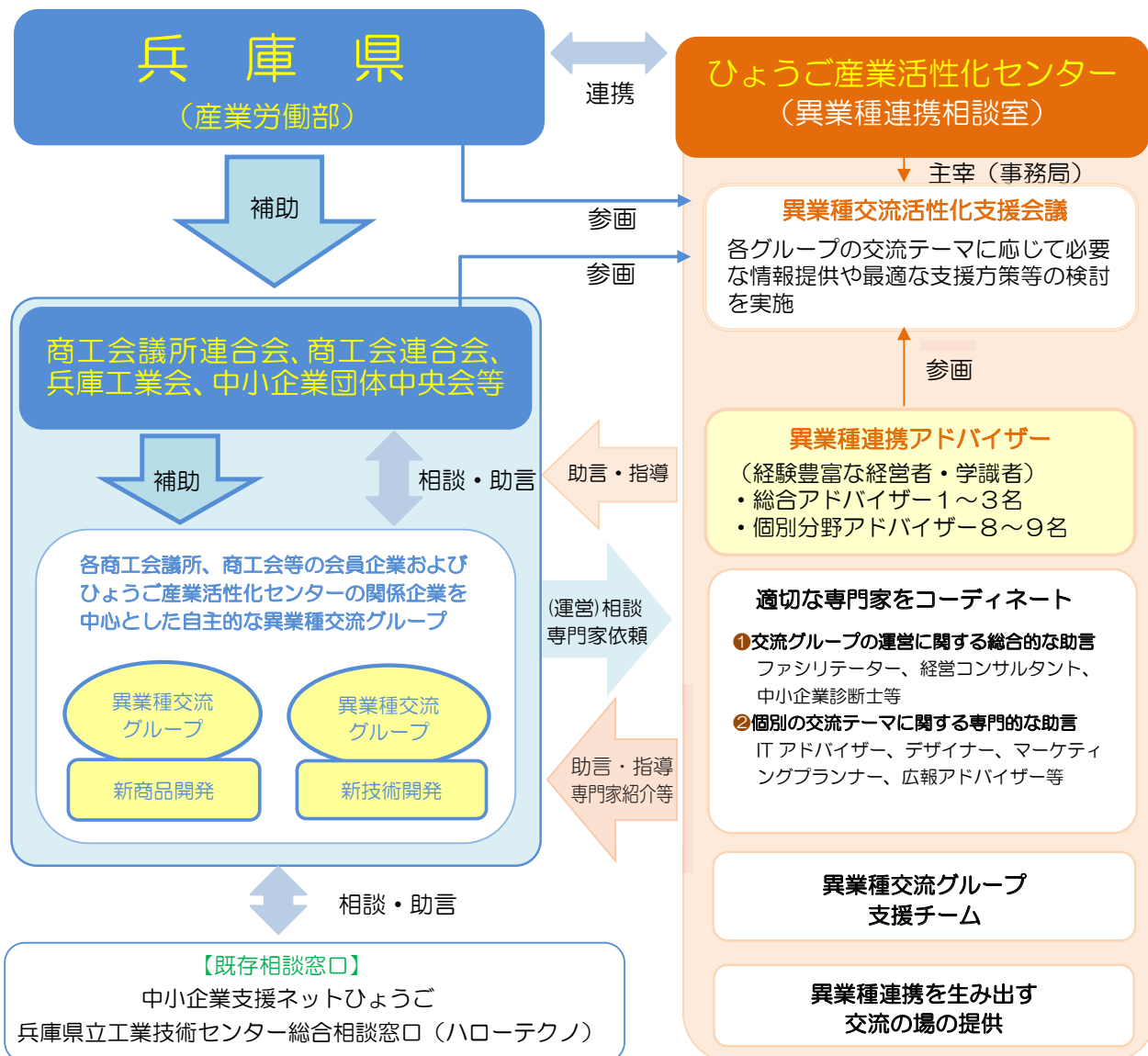
○ひょうご産業活性化センターによる各種支援の実施

- ・相談窓口として、ひょうご産業活性化センターに異業種連携相談室を設置
- ・各分野の専門家（製造・販売・金融・技術・デザイン等）からなる異業種連携アドバイザー等による専門的な助言の実施
- ・異業種交流を生み出す交流の場の提供

③事業の実施期間

平成26年度から令和5年度まで（10年間）＜新規採択は令和4年度で終了＞

4 「異業種交流活性化支援事業」の仕組み



【異業種連携アドバイザー】

兵庫県に縁があり各界で活躍する経験豊富な経営者・学識者に異業種連携アドバイザーとして就任いただき、事業全体へのアドバイスのほか、グループからの相談に対し必要に応じて助言を受けてきました。(アドバイザーの推移は関連資料P13を参照)

<令和6年2月現在>

区分	氏名	所属・職
総合アドバイザー	村元 四郎	ひょうご産業活性化センター総括コーディネーター
個別分野 アドバイザー	尾野 俊二	㈱みなと銀行特別顧問
	河崎 克彦	Katsu NewYork 代表
	北村 新三	神戸大学名誉教授
	高田 恵太郎	ファッションプロデューサー
	田中 信吾	日本ジャバラ㈱代表取締役
	長田 庄太郎	長田通商㈱代表取締役会長
	山中 勸	㈱伍魚福代表取締役社長
	由利 佳一郎	㈱ケイ・ディアー代表取締役社長

ひょうご産業活性化センターの異業種連携相談室が事務局となり、異業種交流グループへの個別訪問・相談対応に加え、以下の支援業務を実施しています。

1 異業種交流活性化支援会議の開催



関係団体の参画と連携を図り、事業を効果的に推進するため、「異業種交流活性化支援会議」を設置しました。各グループにおける事業の進捗状況や課題を踏まえ、経験豊富な経営者や学識者で構成する「異業種連携アドバイザー」の助言、指導を得ながら、グループに対する支援方針を議論しました。

なお、令和2・3年度は新型コロナウイルスの影響により書面開催での実施となりました。

2 異業種交流のすゝめミーティングの開催

異業種交流グループの活動の参考となるよう、意欲的に活動するグループが事例を発表し、参加者との意見交換を行ったほか、異業種連携アドバイザーから個別に助言を受けました。また、会場内の一角にグループ活動の展示コーナーを設置し、成果のPRを行いました。

なお、新型コロナウイルス拡大が懸念された令和2年度から4年度を除き、意見交換・親睦を図るため交流会を開催しました。

最終年度の令和5年度は、異業種交流10年間の歩みを踏まえた今後の発展に向けて、成功事例等を紹介する総括イベントを開催しました。



(異業種交流グループによる発表)



(ミーティング会場の様子)



(アドバイザーによる助言・講評)



(グループ活動の展示コーナー)

3 「国際フロンティア産業メッセ」への出展支援

毎年9月初旬に神戸国際展示場で開催される「国際フロンティア産業メッセ」への出展機会を提供しました。ひょうご産業活性化センターのブースにおいて異業種交流グループが開発した新商品や各種ポスター・パンフレット等を展示・紹介し、グループの活動成果のPRを行うとともに、販路開拓等を支援しました。

＜参加グループ数：5～10グループ程度/年＞



4 課題解決セミナーの開催

商品開発や販路開拓など、異業種交流グループが共通して抱える課題をテーマとして、異業種交流成功のための実践的なヒントを分かりやすく解説する課題解決セミナーを開催しました。

また、新型コロナウイルス拡大が懸念された令和2年度から4年度を除き、セミナー後に個別相談会を併せて実施しました。



5 異業種連携アドバイザー現地巡回訪問指導の実施

異業種連携総合アドバイザー等が異業種交流グループの活動の現場を直接視察し、グループメンバーとの意見交換等を通じて、活動を成功に導くための実践的なアドバイスなど、より具体的にできめ細かな助言や指導を行いました。



6 活動事例集の作成・配布及びホームページ等での情報発信

○ 啓発冊子 「新しい異業種交流のすゝめ」の作成・配布

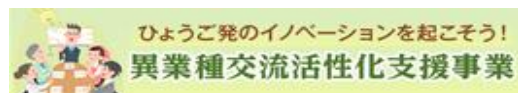
現在活動中の異業種交流グループや、今後、活動を始めようとする中小企業や個人事業者等の道しるべとなるよう、異業種交流の考え方や活動の進め方のヒント、具体的な実践事例を紹介する「新しい異業種交流のすゝめ」を作成・配布しました。

<初版（平成26年度発行）から8訂版（令和3年度発行）まで作成>



○ ホームページによる情報発信

異業種交流グループの活動内容をセンターのホームページに掲載し、広く情報発信を行いました。なお、トップページに専用バナーを設けました。



○ メールによる情報提供

コロナ禍により対面での情報収集の機会が少なくなったことを踏まえ、各異業種交流グループ向けに、商品開発や販路拡大に有益なセミナー・イベントの開催情報などを、タイムリーにメールで提供しました。<令和3年度27回、令和4年度22回、令和5年度14回（1月現在）>

10年間の新規採択件数の総合計は271件に及んでいます。

(注) 当初の支援団体は、兵庫県商工会議所連合会（各商工会議所）、兵庫県商工会連合会（各商工会）、兵庫工業会及び兵庫県工業技術振興会（事務局：兵庫県立工業技術センター）。平成29年度からは兵庫県中小企業団体中央会が加わり、令和2年度から令和4年度までは（新規採択は令和3年度まで）ひょうご産業活性化センターも直接の支援団体となっている。

＜異業種交流活性化支援事業（平成26年度～令和4年度）採択件数集計表＞

	支援団体名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	小計	支援団体合計
商 工 会 議 所	神戸	3	1	1	2		1				8	104
	尼崎	2	1	2	2	2	2	2	1	1	15	
	西宮	2	2	2	1	2		1			10	
	伊丹		1								1	
	宝塚	2		3	1	2	1	2		1	12	
	明石	1		2		3			1		7	
	加古川	1	1		1		1				4	
	高砂							2	3		5	
	三木	1	1	1	1	1			1		6	
	西脇	1			1					1	3	
	小野	2							1		3	
	加西	1									1	
	姫路	3		2	1	3			2		11	
	相生			2			1				3	
	龍野	1	1								2	
	赤穂	1	1								2	
	豊岡		1		1						2	
	洲本			2	1	2		2	1	1	9	
	商工会議所小計	21	10	17	12	15	6	9	10	4		
商 工 会	芦屋市		1		1		2				4	101
	川西市		1				1				2	
	三田市	1	1								2	
	猪名川町	1									1	
	吉川町		1					1			2	
	加東市	1									1	
	多可町	1		1							2	
	稲美町		1		1						2	
	播磨町		1		1						2	
	姫路市		1	1	1		1				4	
	神河町	1		1							2	
	市川町		2		2		1		1		6	
	福崎町	1			1		1				3	
	たつの市		1		2		2				5	
	太子町			1							1	
	上郡町	1		1		1					3	
	佐用町		1	2		2		1			6	
	宍粟市	1		2		2					5	
	豊岡市	1	1		3		1	1			7	
	香美町		1			1					2	
	新温泉町		2		1		1				4	
	養父市	1			1		1				3	
	朝来市			1						1	2	
	丹波市	1			1						2	
	丹波篠山市	1		1	1	1	1				5	
	淡路市		3	1	1	1	2	1	3	1	13	
	五色町	1		1							2	
	南あわじ市	1		2		2	1	1	1		8	
	商工会小計	14	18	15	17	10	15	5	5	2		
兵庫工業会		2	4	3	5	2		4		4		24
兵庫県工業技術振興協議会		4	4	3	4	2	1	2				20
兵庫県中小企業団体中央会					3	4	4	4	2			17
ひょうご産業活性化センター								4	1			5
年度採択合計数		41	36	38	41	33	26	28	18	10		

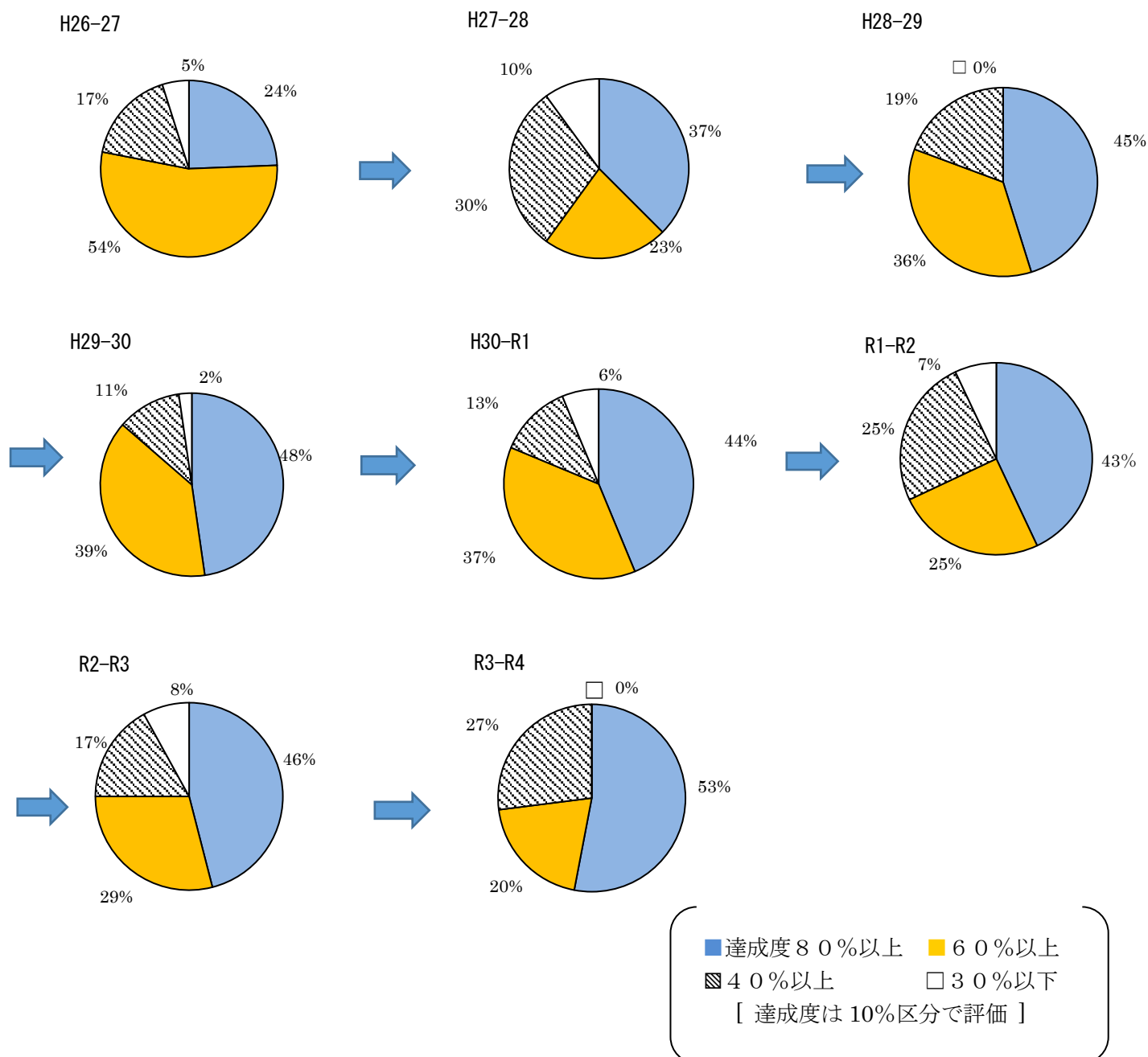
総合計数 271件

異業種交流グループの活動終了後、各グループを対象として、活動成果等に関するアンケート調査を毎年度行ってきました。10年間の調査結果として、項目別に以下の結果にまとめました。

1 テーマ・目標の達成度

目標の達成度を80%以上としたグループは10年間を通じて全体の約4割を概ね確保しています。達成度60%以上を対象とすれば、ほぼ毎年度7割以上のグループが該当すると回答しています。

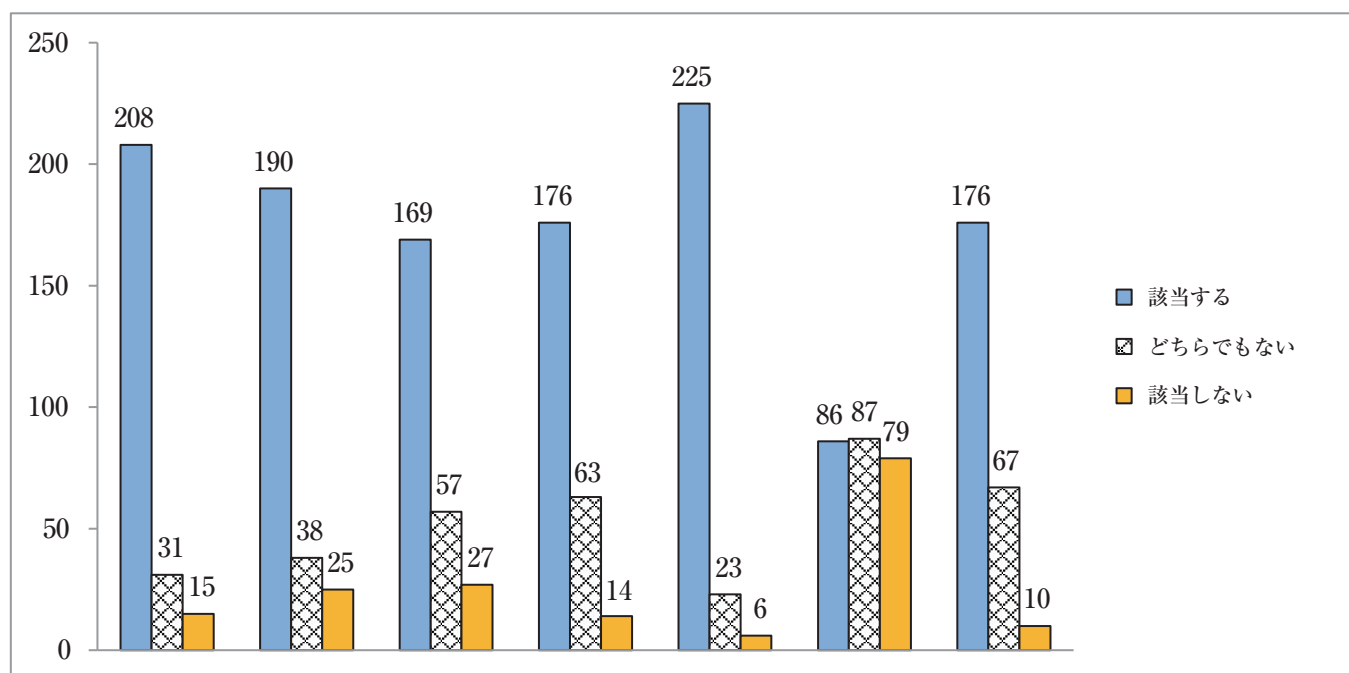
達成度80%以上とした割合は、事業開始当初の平成26年度から27年度に活動したグループでは約4分の1でしたが、その後増加し、平成28年度から29年度に活動したグループ以降は4割を超えています。事業開始当初は研究会を主としたグループ活動が多かったものの、その後、具体的な新商品・サービス開発につながる成果が上がってきたことにより、目標達成度も高くなったと考えられます。



2 異業種交流活動の評価

異業種交流活動に対する評価に関して、10年間のアンケート結果を集計しました。

「ビジネスの視野が拡大」については全 271 グループのうち 225 グループが、「新たなビジネスパートナーの発掘」については 208 グループが、「新商品開発等への意識の向上」については 190 グループが高く評価している結果となりました。



新たなビジネスパートナーや事業連携の可能性を発掘するきっかけがつかめる

消費者目線にたった新商品、新サービス、新技術開発を意識するようになる

社外の経営資源を活用した新たなビジネスの創出に有効である

他者の目を借りて自社ではわからなかった長所や短所に気づける

異業種の人と交流することができビジネスの視野が広がる

グループとしての意思決定に時間がかかる

自社のビジネスの発展につながる

各支援団体から、新商品開発や販路拡大などにおいて成果を収めている事例として推薦があった、異業種交流 10 グループの活動概要を紹介します。

1

企業内起業家空間を活用したクラフトビールの開発：高砂商工会議所支援

グループ名：LINC プロジェクト (R3～R4 支援)

- ・商店街の空き店舗を「企業内起業家空間」として活用し、会社の枠を超えた中小企業の社員による交流・意見交換を通じて新たなビジネスの発掘を目指し、クラフトビールの開発・販売に取り組んだ。
- ・メンバー内で試飲会などを行い、名称の決定、商品のブランディング、販路開拓先を検討し、高砂を代表する「祭」をイメージした 2 種類の「高砂祭ビール白・黒」を完成させた。
- ・地域一体の活動を行うため、播磨地域をホームタウンとするサッカーチーム「チェントクオーレハリマ」との連携も行っている。



<異業種交流メンバー> (株) 黒田金物、(一社) ひょうご若者自立支援センター、中野プランツ (株) (株) SUGITA、(株) 中国銀行、播磨環境管理センター (株)、(株) 阪技

2

小型熱電対溶接機の開発と販路拡大：兵庫工業会支援

グループ名：くすのき会分科会 (H26～H27 支援)

- ・ものづくり企業の経営者が互いに現場を訪問して、潜在する問題を提起し、その解決策となる「技術」、「製品」、「手法」の検討・提案を行った。
- ・加熱時の重要プロセスである炉内温度計測に用いる「熱電対」を取り付けるための特殊溶接機について、輸入販売していた英国製品が生産中止となったため、異業種交流グループ内の 2 社が世界最小・最軽量の溶接機を共同で開発・製造・販売し、現在も年間約 20 台の販売を継続している。



<連携企業> ジェミックス (株)、(株) 日本フラッシュ

3

地産特産品のもち麦を使用した新商品開発：兵庫県中小企業団体中央会支援

グループ名：ひょうごもち麦プロジェクト (R3～R4 支援)

- ・加東市を中心に北播磨地域で栽培されるひょうごもち麦「キラリモチ」の普及促進を図るため、パン製造業者や製麺業者、食品製造業者、精米業者が連携し、もち麦を使ったパン、うどん、パスタやおこわなどの新商品を健康食品として開発・販売した。
- ・消費者の健康増進と、参画する事業者や生産者、地域の発展への寄与を目標に、もち麦のさらなる普及を目指している。
- ・地元の子供たちを対象とする麦踏みやうどん作り体験のイベントを開催し、地域活性化にも取り組んでいる。



<異業種交流メンバー> (株) マルヤナギ小倉屋、(株) 神明、カネス製麺 (株)、(株) イスズバーカリー (株) いづよね、コメル、(株) フードコミュニケーションデザイン、西嶋パン (株)

4

漢字の部首キャラクターのコンテンツビジネス開発：ひょうご産業活性化センター支援

グループ名：かんむりひめプロジェクト（R2～R3支援）

- ・デザイナーと日本語研究者、大学生が協働し、漢字の部首キャラクター「かんむりひめのあめかちゃん」を開発した。
- ・外国人を含む漢字学習者が、①学ぶことが楽しくなる、②漢字を覚えやすくなる、③文化への関心が高くなることを想定している。
- ・本事業によりキャラクターのバーチャルアバターを開発したほか、子供向け絵本を出版し、オリジナルアイテムの通信販売も開始した。
- ・現在、インドにおける日本語学習者への教育支援ツールとしての導入を目指している。

*大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジに登録

<異業種交流メンバー> (株) コトパノミカタ、個人事業主（経営コンサルタント・社会保険労務士）
神戸学院大学



5

地元素材「酒粕」「くすのき」を使った新商品開発：宝塚商工会議所支援

グループ名：自然をちからに（H30～R3支援）

- ・日本酒の絞りかす「酒粕」や解体された旧宝塚ホテルに植えられていた「くすのき」を再利用するなど、捨てられるモノを再生し、新たな商品として世に出すというコンセプトのもと、SDGsの精神に則った商品の開発・販売を行った。
- ・具体的な商品として、酒粕の化粧品や石鹸、美容オイルに加え、くすのきをカットしたカンフル・アロマスティックなどがある。
- ・百貨店での常設販売やイベント出店のほか、大手ECモールでの販売も行っており、米国大手ECサイトでの販売も決定した。



<異業種交流メンバー> (株) マーズインターナショナル、林製材所、(株) 桧野商、(株) エビスシマダ

6

帋屋[kamiya]—県産紙素材によるペーパーバッグ：明石商工会議所支援

グループ名：帋屋製作委員会（H28～R元支援）

- ・1,300年の歴史があり皇室にも献上された、伝統ある「杉原紙」の質感を活かして、劣化防止と防水性の加工法を生み出し、丈夫で風合いのあるペーパーバッグや雪駄・アクセサリーなどの開発・販売を行った。
- ・兵庫県の「杉原紙」を素材とした柿渋和紙について、湯煮と柿渋染などの塗と天日干しを幾度も繰り返すことにより、一見すると紙とは思えない質感と耐久性を持つ新しい素材を開発した。
- ・植樹により増産可能な多年生の楮（こうぞ）を用いることで、生態系にリスクを与えないSDGsの理念にも合致し、海外市場に挑戦している。



<異業種交流メンバー> デザインルームいわなが、(株) オートメイションリサーチ、(株) あかし多幸
おち呉服店、シバヤ、(有) Wish

7

共同で行う「made in Ichikawa」ゴルフクラブの開発：市川町商工会支援

グループ名：オリジナルゴルフクラブ開発委員会（R3～R4支援）

- ・OEM等の下請け業者や、個人経営で販売力の無いゴルフクラブ製造業者、インターネット販売業者等が集まり、それぞれの得意分野を活かし、今までにないゴルフクラブの開発を目指した。その結果、国産軟鉄鍛造で「made in Ichikawa」のワンレングスアイアン（全ての番手が同じ長さのアイアン）を完成させた。
- ・長さだけでなく、重量、バランス等も同じ仕様で、唯一無二のアイアンとなった。現在、市川町のふるさと納税返礼品となっており、一般販売は令和6年4月頃を予定している。



<異業種交流メンバー> (株) 東邦ゴルフ、オカモトゴルフ、岩木ゴルフ、青田ゴルフ、市川町、市川町商工会

8

淡路産藍染 × 就職困難者による地場産業の創出：淡路市商工会支援

グループ名：淡藍結 (R3～R4支援)

- ・淡路島産の藍を使い天然染色した水引のお守り「淡藍結（あわあいむすび）」の開発という6次産業の推進に加え、耕作放棄地を活用した藍の栽培、染色及び製品づくりを就職困難者（障がい者や引きこもりの人等）の仕事として創出し、社会参加の機会を促進することに取り組んだ。
- ・水引のお守りは令和4年1月から令和5年11月までで3,000個以上を販売するなど好評で、生産が追い付かない状況である。
- ・島内2か所の神社に加え、令和5年からは更に1か所の神社で取り扱いが始まった。



<異業種交流メンバー>AWAJI 藍 LAND project、森の木ファーム（株）、NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路（株）ワークトゥギャザー・ロックトゥギャザー

9

建築端材を活用した新たな商品開発への取組：淡路市商工会支援

グループ名：ひがしうらBuilder's (R4支援)

- ・木質廃棄物の再利用が二酸化炭素排出量削減の観点からも注目されている中、メンバーの材木店でも毎年2トン車で平均20台近くの端材があることから、地元の小学校や老人会に工作用の材料として提供してきた。
- ・廃棄する端材を活用したキャンプグッズなどの商品開発に取り組んだ。
- ・同材木店の敷地内にある倉庫を改装して、シェア工房を開設し、木工・家具・彫刻等の職人の育成に注力していく。
- ・授業の材料として、工業高校への廃材の無償提供に加え、県立ものづくり大学校への提供も調整している。



<異業種交流メンバー>（株）来田材木店、Jimuya101、（有）メンタルサポートサービス、井筒屋（有）宮田電気設備、（株）エコリカル

10

フードロスの淡路島食材を使用した商品開発と販路開拓：南あわじ市商工会支援

グループ名：南あわじ TEN TEN TEN (R元～R4支援)

- ・食料需給率100%を超える南あわじ市の生鮮食品（野菜等）のフードロス解決を目指し、島内で加工販売できる新商品の開発に取り組んだ。
- ・商品化されないB級品の淡路島産玉ねぎを使ったキムチ「キムチの玉様（たまさま）」を開発・商品化し、島内のサービスエリア等で販売している。令和2年11月から販売を開始し、約2年間で1,000万円以上を売り上げたほか、南あわじ市のふるさと納税返礼品にもなった。
- ・さらにレタスを使った「キムチのレタ姫」の商品化にも成功している。
- ・キムチ製造を担う新たな起業家も生み出すこととなった。



<異業種交流メンバー>志知カフェ、あわじ島まるごと（株）、居酒屋うの、KEKKOI、横乗り工房 CRAZYMONEY リプラス、河西青果（株）

関

連

資

料

○異業種連携アドバイザーの推移	P 13
○年度別採択グループ一覧	P 14
○異業種交流グループ（令和 3 ～ 4 年度活動） のアンケート調査結果	P 31

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
区分	所属・職	氏 名				
総合 アドバイザー	ひょうご産業活性化センター 相談役	表具 喜治	表具 喜治	表具 喜治	表具 喜治	表具 喜治
	ひょうご産業活性化センター 総括コーディネーター	村元 四郎	村元 四郎	村元 四郎	村元 四郎	村元 四郎
	兵庫県立大学大学院 経営研究科教授	佐竹 隆幸	佐竹 隆幸	佐竹 隆幸	佐竹 隆幸	佐竹 隆幸
個別 アドバイザー	神栄㈱ 相談役	新 尚一	新 尚一	新 尚一	新 尚一	新 尚一
	㈱ロック・フィールド 代表取締役会長兼CEO	岩田 弘三	岩田 弘三	岩田 弘三	岩田 弘三	岩田 弘三
	Katsu Kawasaki New York 代表	河崎 克彦	河崎 克彦	河崎 克彦	河崎 克彦	河崎 克彦
	兵庫県立工業技術センター 特別顧問 (現 神戸大学名誉教授)	北村 新三	北村 新三	北村 新三	北村 新三	北村 新三
	「神戸コレクション」 エグゼクティブプロデューサー (現 ファッションプロデューサー)	高田 恵太郎	高田 恵太郎	高田 恵太郎	高田 恵太郎	高田 恵太郎
	日本ジャバラ工業㈱ 代表取締役	田中 信吾	田中 信吾	田中 信吾	田中 信吾	田中 信吾
	長田通商㈱ 代表取締役社長 (現 代表取締役会長)	長田 庄太郎	長田 庄太郎	長田 庄太郎	長田 庄太郎	長田 庄太郎
	㈱みなと銀行 特別顧問	藪本 信裕	藪本 信裕	藪本 信裕	藪本 信裕	
	㈱みなと銀行 特別顧問					尾野 俊二
	㈱ケイ・ディーア 代表取締役	由利 佳一郎	由利 佳一郎	由利 佳一郎	由利 佳一郎	由利 佳一郎

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
区分	所属・職	氏 名				
総合 アドバイザー	ひょうご産業活性化センター 相談役	表具 喜治	表具 喜治	表具 喜治		
	ひょうご産業活性化センター 総括コーディネーター	村元 四郎	村元 四郎	村元 四郎	村元 四郎	村元 四郎
	兵庫県立大学大学院 経営研究科教授	佐竹 隆幸	佐竹 隆幸			
	神戸大学大学院 経営学研究科教授			忽那 憲治	忽那 憲治	
個別 アドバイザー	神栄㈱ 相談役	新 尚一	新 尚一			
	㈱伍魚福 代表取締役社長	山中 勸	山中 勸	山中 勸	山中 勸	山中 勸
	Katsu Kawasaki New York 代表	河崎 克彦	河崎 克彦	河崎 克彦	河崎 克彦	河崎 克彦
	兵庫県立工業技術センター 特別顧問 (現 神戸大学名誉教授)	北村 新三	北村 新三	北村 新三	北村 新三	北村 新三
	「神戸コレクション」 エグゼクティブプロデューサー (現 ファッションプロデューサー)	高田 恵太郎	高田 恵太郎	高田 恵太郎	高田 恵太郎	高田 恵太郎
	日本ジャバラ工業㈱ 代表取締役	田中 信吾	田中 信吾	田中 信吾	田中 信吾	田中 信吾
	長田通商㈱ 代表取締役社長 (現 代表取締役会長)	長田 庄太郎	長田 庄太郎	長田 庄太郎	長田 庄太郎	長田 庄太郎
	㈱みなと銀行 特別顧問	尾野 俊二	尾野 俊二	尾野 俊二	尾野 俊二	尾野 俊二
	㈱ケイ・ディーア 代表取締役	由利 佳一郎	由利 佳一郎	由利 佳一郎	由利 佳一郎	由利 佳一郎

令和4年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	「農福商工学観連携」地域観光農園による魅力発信事業	コミュニティーファーム 尼崎善法寺	尼崎商工会議所	遊休農地を地域観光農園として再生し、農福商工学観が連携して、都市農地版アグリツーリズムにより地域の魅力向上および発信を図る。
2	食品ロスを削減し持続可能な社会に向けた新商品開発	SDGs推進グループ	宝塚商工会議所	規格外として廃棄されていた真菰（まこも）や野菜を加工した新たな商品開発を行い、新たな収入源を獲得することにより地域の活性化を目指す。
3	播州織ブランドを広く浸透させ販路の拡張を目指す計画	播州織ブランド浸透化推進計画を検討するチーム	西脇商工会議所	再生糸を用いるなど、訴求力のある播州織商品を開発し、ブランドの浸透を図ることにより、地場産業の普及および販路拡大を図る。
4	未利用魚（淡路黄金鱧）を周年活用し、ソーシャルグッドな新商品開発によるご当地逸品商品開発ブランド化推進事業	淡路島ファーストペンギン	洲本商工会議所	未利用魚となる規格外の大型鱧「淡路黄金鱧」を周年常温販売できるソーシャルグッドな新商品を開発し、淡路島の新たな逸品商品としてブランド化を推進する。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	朝来ご当地グルメ開発推進プロジェクト事業	朝来市商工会ご当地グルメ開発部会	朝来市商工会	朝来市の看板メニューとなるご当地グルメの新規開発を行い、観光業の活性化の促進を目指す。
2	建築端材を活用した新たな商品開発への取り組み	ひがしうら Builder's	淡路市商工会	二酸化炭素放出量削減の観点から、木質廃棄物のリサイクル率向上を目指した建築端材を使用した商品（木のおもちゃ、キャンプグッズ、ウッドチップ等）の開発に取り組む。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	製造業DX実現に向けた企業間交流	DX推進協議会	兵庫工業会	DX（デジタルトランスフォーメーション）の実現が見えている企業を見極め、ベンチマークとして設定し広める活動を実施することにより、DXに取り組む企業の増加を目指す。
2	永年企業を目指したものづくり企業支援研究	経営革新支援研究会		次世代を担う人材育成に取り組む先進企業や、中堅企業に成長した企業の経営に関する考え方や取り組みを学び、経営革新への理解を深めるほか、得られたノウハウの情報発信を図る。
3	中小企業におけるダイバーシティを前提とした採用力向上に向けた研究	兵庫採用イノベーション研究会		地域中小企業での採用を強化するため、企業の強みと魅力を伝える工夫やインターンシップのあり方を構築し実践することなどにより、地域づくりにおける「働く場」の創出を目指す。
4	地域におけるサプライチェーン補完クラスター創造事業	地域内ものづくりクラスター創造グループ		近隣地域の取引増による物流コストの削減や、CO2排出抑制による環境貢献にも寄与する「ミニ地域内ものづくりクラスター」の構築に取り組む。

令和3年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	オール尼崎による尼崎城プラモデル化計画	プラモ尼崎城	尼崎商工会議所	尼崎城のプラモデルの開発、及びシャチホコのプラモデルの販路開拓を行い、「ものづくりのまち・尼崎」としての認知度を高め、観光客誘致へ繋げていく。
2	次世代天然調味料に挑む！あかし海峡海苔油（ハイジャンユ）開発プロジェクト	あかし海峡海苔油（ハイジャンユ）プロジェクトチーム	明石商工会議所	不漁及び価格の高騰が続くいかなごに代わり、ちりめんや蛸・海苔を活用した商品開発に取り組む。
3	「高砂結びのひとしな」PR事業	「高砂結びのひとしな」PR隊	高砂商工会議所	「結びのまち高砂」構想の定着を目指し、飲食店や小売店への観光客誘導に繋げ、高砂市のPR・活性化を目指す。
4	異業種のアイデアを活かした企業内起業発掘事業	LINCプロジェクト	高砂商工会議所	商店街の空き店舗を「企業内起業家空間」として活用し、会社の枠を超えて中小企業の社員が交流・意見交換を行うことで、新たなビジネス発掘・人材育成・企業間交流を目指す。
5	地域で働く女性オーナー活力創造事業	Ladies Be Ambitious	高砂商工会議所	高砂市内の女性事業経営者が横断的なネットワークを構築し、異業種交流を通じて各自のレベルアップや観光産業の活性化に取り組む。また、空き家・空き店舗の活性化にも取り組む。
6	地場力の発信、未知への挑戦による商品開発・販路開拓事業	別注屋.com	三木商工会議所	金物業界の製造業者と卸売業者が連携して、金物関連におけるニッチ製品の受注制作の認知度を高めるために、展示会への出展や新分野進出により、販路開拓に取り組む。
7	地域ブランドを活用した地場産品価値創造事業	地域ブランド販路開拓委員会	小野商工会議所	特産品である金物、播州そろばんの売上増加を目指し、ブランディングによる付加価値と知名度の向上、販路開拓等に取り組む。
8	ものづくりのまち連携プロジェクト	ものづくりのまち連携研究会	姫路商工会議所	姫路と類似する都市（歴史的建造物のある工業都市）と連携し、ものづくり産業の活性化を考えるグループを組成して、企業間で継続的に連携できるネットワーク構築を目指す。
9	姫路版SDGs普及・促進事業	ひめじSDGs推進プラットフォーム	姫路商工会議所	姫路市の持続的な発展、より良い社会の実現に向けて、まちづくりに関する課題研究やSDGsの啓発活動を実施する。
10	みんなでつくる淡路島の街並み「リビルド&リノベーション」事業	リビルド&リノベーション淡路島	洲本商工会議所	コロナ禍で急増している移住やワーケーションに対応できるよう、淡路島地域において、参加型の古民家再活事業を確立する。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	共同で行う「made in ichikawa」ゴルフクラブの開発	オリジナルゴルフクラブ開発委員会	市川町商工会	ゴルフクラブの製造業、小売業、サービス業が集まり、他社との差別化を図った国産軟鉄鍛造オリジナルの「made in ichikawa」のゴルフクラブ開発・販路開拓に取り組む。
2	淡路島オンリーワン商品コラボによる健康増進の訴求と新規販路開拓事業	淡路島健康LABO	淡路市商工会	淡路島のオンリーワン商品である「コトブキ浣腸ひとおし」と「吹き戻し」をコラボし、顧客向けに健康意識の訴求を行うほか、淡路島の特産品等もPRし、新たな市場を開拓する。
3	淡路島産エッセンシャルオイル新商品開発	香りの島研究会	淡路市商工会	淡路島のハーブを使用した独自性・競争力の高いエッセンシャルオイルの商品開発・販路開拓に取り組む。
4	淡路産藍染め×就労弱者による地場産業創出プロジェクト	淡藍結	淡路市商工会	耕作放棄地を利用して藍を栽培し、地域性を生かした製品を開発。手間のかかる栽培から染色、製品づくりの業務を就職困難者の仕事として創出し、社会参加の促進に取り組む。
5	フードロスとなっている淡路島の食材を使った商品開発と販路開拓	南あわじ TEN TEN TEN	南あわじ市商工会	玉ねぎを加工し、開発した「キムチの玉様」の製造能力を上げると共に、販路開拓に取り組む。また、玉ねぎ以外のフードロスとなっている食材の商品開発・販路開拓にも取り組む。

■兵庫県中小企業団体中央会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	スマホによる葬儀前後の困りごと相談アプリの開発	困りごと解決チーム	兵庫県中小企業団体中央会	過疎地域の地域密着型ビジネスの利点を活かし、地域の事業者が参画できるベースとなる困りごと相談アプリの開発を目指す。
2	ひょうごもち麦プロジェクト	ひょうごもち麦プロジェクト		消費者の健康増進及び生産者や事業者、地域の発展に寄与することを目的として、地域特産品であるもち麦の普及促進のため、新商品開発及び販路開拓に取り組む。

■ひょうご産業活性化センター

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	衣料の製造工程で生じる廃棄物のエコシステム構築事業	メリメロ	ひょうご産業活性化センター	衣料の製造工程で出る廃棄物を再利用した商品を作成することにより、ファッション業界の廃棄物を減らすこと（廃棄物を利用したエコシステムの構築）を目指す。

令和2年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	伝統野菜を活用した商品開発と販路拡大事業	伝統野菜活用協議会	尼崎商工会議所	「尼いもご飯の素」の販路開拓、尼いもと他の地域産品との連携商品の開発、尼いもを使用したフィッシュアンドチップスの普及活動を行う。
2	オール尼崎による尼崎プラモデル化計画	プラモ尼崎城	尼崎商工会議所	尼崎城の開城を機に、更なる観光客誘致を図るため、尼崎城天守のプラモデルの開発、シャチホコプラモデルの販路開拓に取り組む。
3	カフェ文化定着事業	にしのみやコーヒーの扉プロジェクト	西宮商工会議所	「カフェ文化」を西宮に根付かせ、定着させる。また、自宅でスペシャルコーヒーを楽しむフードベアリングなど、新たなコーヒービジネスに取り組み、販路開拓・拡大を目指す。
4	地元素材「酒粕」「くすのき」をつかった新商品開発	自然をちからに	宝塚商工会議所	捨てるモノを新商品にするというSDGsの精神に則り、「酒粕」や「くすのき」を使用した商品の販路開拓とブランディング、量産体制の整備、及び新商品の開発を目指す。
5	宝塚の「お宝」発掘プロジェクト	宝塚商品開発チーム	宝塚商工会議所	宝塚の特産品の融合や農工商連携、宝塚オリジナルブランドの認定を行い、新たな付加価値、また付加価値の高い商品開発に取り組む。
6	高砂をご当地ドリンクで盛り上げよう！	高砂LOVE	高砂商工会議所	ご当地ドリンク（高砂地ビール、高砂ハイボール）を開発し、それらの販売を通じて市内飲食店と連携し、高砂のPRに繋げていく。
7	高砂の松 商品化pro	高砂未来会議	高砂商工会議所	「高砂の松」（相生の松）のミニチュア盆栽を商品化し、販路開拓・販売に繋げ、夫婦和合のまち「高砂」を広く発信する。
8	洲本市地場産業真珠核製造の発展	SHIMATAMA 島珠	洲本商工会議所	洲本市の地場産業である真珠核製造を衰退させないため、イミテーションパール「島珠」が特産品として認知されるよう活動を行う。
9	淡路島の特産品を活かした新商品開発	うまいもん淡路	洲本商工会議所	卸、農家、通販事業者等が連携し、淡路島の特産品を使って商品開発に取り組む。また、商品開発から販売までをワンストップで行う仕組みを作る。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	異業種交流によるコラボ商品・コラボメニュー開発事業	吉川町商工会異業種交流委員会	吉川町商工会	吉川町の地元食材であるいちごや牛乳などを組み合わせたコラボ商品の開発に取り組み、吉川町の特産品として販路開拓を目指す。
2	キャンプ場活性化事業	佐用町商工会青年部	佐用町商工会	佐用町営の南光自然観察村キャンプ場の利用客を増やすとともに、町内施設や特産品をPRし、佐用町の地域活性化を目指す。
3	豊岡女子異業種交流事業	豊岡女子ラボ	豊岡市商工会	豊岡市内における異業種の女性事業経営者が横断的なネットワークの構築を図り、各々のレベルアップや観光産業の活性化、新分野のサービス開発等を目指す。
4	淡路島の特産品を活用した新商品開発	淡路島labo	淡路市商工会	淡路島の特産品を活用した加工品を開発する。また、生産者や卸、販売店が協働し、ワンストップで販売まで行えるビジネスモデルの確立を目指す。
5	淡路島の地域資源を活用したプレミアム商品の開発	プレミアム商品開発委員会	南あわじ市商工会	淡路島の地域資源を活用したプレミアム商品の販路開拓と知名度向上、及び新商品の開発を目指す。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	ものづくり中小企業の経営力強化研究	ものづくり中小企業経営研究会	兵庫工業会	ものづくり中小企業の経営者等を対象に、経営課題に関わる有識者との意見交換・現場視察などの交流機会を設け、経営力強化や中核企業としての発展を目指す。
2	ものづくり地域連携交流事業	丹波・但馬・北播磨・淡路地域牽引企業グループ		遠方地域間での企業間連携を行い、相互発展、相互補完していくことを目指す。
3	製造現場におけるRPA・アプリケーションネットワーク研究	次世代スタンダード製造システム研究会		汎用性を持ったロボットコントローラーやそれらを統合運用するアプリケーション・プラットフォームの構築等による、工場内物流の省人化・負担軽減について研究する。
4	地域で輝くものづくり企業活動研究	地域企業活動研究会		求職者に選ばれるために様々な取組や持続可能なものづくりを行う企業を「ベンチマーク企業」とし、参画者がベンチマーク企業の取組を学び、魅力ある企業に成長することを目指す。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	ヘアケア剤&ヘアブラシ開発プロジェクト	ヘアケア剤&ヘアブラシ開発グループ	兵庫工業技術振興協議会	カラーヘアに特化したヘアケア剤とヘアブラシの商品改良、販路拡大を目指す。
2	防災を日常に！防災意識を高める新サービスの提供と食品の開発	守る未来・見直す日常・安心への道は防災から		「日常的に食べて買い足す」循環備蓄用防災チップスを開発するほか、自宅備蓄の必要性等を防災訓練の場やネットで提供する新サービスを開発する。

■兵庫県中小企業団体中央会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	神戸発・酒粕ラーメン開発事業～実店舗&流通向けカップ麺開発～	酒粕麺開発事業体	兵庫県中小企業団体中央会	(株)北海が地域や料理学校、メディアとコラボレーションして新しいラーメンを開発する。合わせて、カップ麺の製造にも取り組む。
2	兵庫県特産品開発の会 (HBSM)	兵庫県特産品開発の会 (HBSM)		旅行先の土産物を手軽に自宅に送れるほか、メールやSNSを通じて家族・友人等にカタログギフトとして送ることができるプラットフォームサービスを開発する。
3	暮らしの学び	暮らしの学び		地方での持続可能な暮らし方やジビエ料理の調理法を紹介し、サステイナブルな暮らしを普及させるために「暮らしの学び講座」のオンライン構築を目指す。
4	ウィズコロナ・はりま地場産の商品開発及び移動販売プロジェクト	はりま地場産会		はりまの地場産業（農水産物）を使った商品開発に取り組み、地場産業の6次化を目指す。また、コロナ対策としての非対面販売の確立にも取り組む。

■ひょうご産業活性化センター

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	漢字の部首キャラクターのコンテンツビジネス開発	かんむりひめプロジェクト	ひょうご産業活性化センター	開発済である漢字部首のキャラクター「かんむりひめのあめかちゃん」をバーチャル化し、SNS等で配信する。最終的には、広告収入のビジネスモデル確立と初等教育現場における教育コンテンツとしての採用を目指す。
2	ソーシャルインパクトを活用した企業価値向上とコンサルティングサービスの開発	ソイラテ		先進事例からソーシャルインパクトの活用方法等を知得した上で、ソーシャルインパクトについてのガイドブック作成やセミナー開催を実施し、コンサルティングサービスを開発する。
3	新たな食材の保存技術の確立と保存技術を活用した新商品開発事業	新たな食材保存技術研究会		様々な青果物に対応した新たな食材保存技術を確立することで、鮮度を保った状態での長期保存を可能とし、食材廃棄の削減に貢献する。
4	組織的販路開拓に向けた健康志向の新商品開発および販路開拓事業	エイチLabo.		「健康」をテーマに活動している異業種が集まり、1つの組織としてコンセプトを掲げ、新商品・新サービスの開発等に取り組む。

令和元年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	新長田タウンカード事業	新長田タウンカード事業発足委員会	神戸商工会議所	新長田合同庁舎完成を機に、優待サービスが受けられるタウンカードを対象者に配布し、地元商業者の活性化（顧客拡大）を図っていく。
2	海外販路開拓研究事業	尼崎商工会議所海外販路開拓研究会	尼崎商工会議所	中小企業の海外展開を目標に、海外の展示会出展の手法及び情報発信方法を研究するとともに「バンコク日本博」に出展する。
3	地域店舗活力創造事業	地域店舗活力創造研究会	尼崎商工会議所	尼崎市民のみならず国内外の観光客誘引を目標に、飲食を中心に魅力ある店舗の発掘、情報発信と来店を促す仕組みづくりに取り組んでいく。
4	「華野彩（はなのいろどり）」ブランド開発	「華野彩」ブランド開発委員会	宝塚商工会議所	宝塚市花である「すみれ」をエディブルフラワーとして栽培、商品化し、「華野彩（はなのいろどり）」というブランド名で売り出していく。
5	加古川焼き肉グルメガイドプロジェクト	加古川焼き肉グルメガイドプロジェクトチーム	加古川商工会議所	加古川の焼き肉をPRするマップの作成・配布により、「加古川牛」のブランド強化に取り組む。
6	相産高校生と共に創る相生特産品開発	相産高校生と共に創る相生特産品開発プロジェクトチーム	相生商工会議所	相生で生産される農産物・水産物を使用し、生産者や企業と高校生が連携して開発した相生特産品の販路開拓及び新商品開発を目指す。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	“Made in 芦屋”老舗の味詰め合わせ販路開拓	芦屋新世会	芦屋市商工会	芦屋市内の老舗事業者の異業種グループが、地元で永く愛される名産品の詰め合わせを「Made in 芦屋」として商品化し、販路開拓を目指す。
2	不動産を軸とした異業種交流の基盤づくりと新サービスの展開	AYC会	芦屋市商工会	不動産業以外の業種と交流・連携することで新たな付加価値を見出し、芦屋市の不動産流通業務の円滑化に取り組む。
3	かわにしインバウンド勉強会およびモニタリングツアー報告会	かわにし地域活性化研究会	川西市商工会	インバウンドに関する勉強会やモニタリングツアーの結果を踏まえ、川西市のインバウンド観光を模索し、地域活性化を目指す。
4	農産物を活用した「こうでら」の地域活性化事業	香呂・溝口駅前活性化委員会	姫路市商工会	姫路市香寺町の地域資源（恒屋城、香寺荘、赤蕎麦、玄米もち）を連携させながら、特産品開発と地域活性化を目指す。
5	つるい元気農園でとれたさつまいも等を活用した新商品開発	つるい元気農園新商品開発グループ	市川町商工会	農家と製菓業者、飲食店等が連携し、特産品のさつまいも等を活用して開発した商品の販路開拓及び商品ラインアップを増やすために新商品の開発を目指す。
6	特産品開発研究会	福岡町商工会特産品開発研究会	福岡町商工会	福岡町出身の民俗学者、柳田國男ゆかりのヤマモモを使った加工品の開発とブランド化、販路開拓を目指す。
7	地元農・水産物を使用した新商品開発と既存特産品の販路開拓	地域まちおこし異業種研究会	たつの市商工会	アサリの食害となつて駆除されているエイ、たつの市産の大根、にんじんを活用した新たな特産品開発及び販路開拓を目指す。
8	真空乾燥機により農水産物を固液分離させた有用な商品開発と販路開拓	農水産物有効利用研究会	たつの市商工会	たつの市の未利用農水産物を活用した商品の開発・販路開拓に取り組む。
9	春秋のご当地めぐり創出事業	ご当地ビジネス推進委員会	豊岡市商工会	地域ブランドを整理し、食品や観光など核となるコンテンツでご当地総合ブランドを創出し、情報発信していく。
10	浜坂地えびメニュー・商品開発販路開拓事業	新温泉町商工会グルメ開発推進協議会	新温泉町商工会	「浜坂地えび」を活用したメニューや商品の開発と販売促進に取り組み、「浜坂地えび」のブランド化を目指す。
11	地域食材有効活用促進事業	酒粕を活かす！女性事業者の会（酒香寿倶楽部）	養父市商工会	現在は処分されている地元酒造業者の酒粕を活用して開発した食品の販路開拓及び商品ラインアップを増やすために新商品開発を目指す。
12	デカンショセレクション認定事業	デカンショセレクション実行委員会	丹波篠山市商工会	丹波篠山市内の逸品を「デカンショセレクション」として選定し、全国に向けた情報発信とブランド化に取り組み、販路開拓を目指す。
13	観光地域ブランディング事業「ペットの楽園通信」	ペットの楽園 淡路島サービス向上委員会	淡路市商工会	ペット関連事業者が連携し、ペット連れ観光客に向けた淡路島内の関連施設やサービスの情報発信を行うことで「ペットの楽園淡路島」をブランドとして認知・定着を目指す。
14	淡路島PSD（ピュレ・ソース・ドレッシング）開発	淡路島産品加工研究会	淡路市商工会	淡路島の野菜、果実、肉、魚を加工し、独自性や競争力の高い調味料を研究し商品化を目指す。
15	フードロスとなっている淡路島の食材を使った商品開発	TEN TEN TEN	南あわじ市商工会	南あわじ市で発生している野菜を中心とした生鮮食品のフードロスの解決を目的に、地域内で加工販売できる商品の開発を行う。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	播州織による製品化とマーケティング構築計画	播州織の製品化と販売を検討するチーム	兵庫県工業技術振興協議会	播州織企業と若手デザイナーが連携し、播州織を使ったオリジナル商品の開発を行うとともに、商品の販売拠点確立に取り組む。

■兵庫県中小企業団体中央会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	淡路島の野草を使った犬の天然養生ケア製品と、南あわじ鹿肉を使った持ち運びできる犬ごはんの開発と促進	淡路島犬養生の会	兵庫県中小企業団体中央会	淡路島の野草（よもぎ・びわの葉）を使った犬用ケア用品、鹿肉や自然栽培野菜を使った犬用旅ごはんの開発・販売に取り組む。
2	伝統工芸品の海外販路開拓	KOHAZEプロジェクト		日本の伝統文化である「こはぜ」を海外へPRすると共に、新商品の開発を目指す。
3	淡路島の放置竹林を有効活用した新商品の開発と販売	淡路島竹林活用の会		淡路島の放置竹林を有効活用するために「メンマ」を開発し、名産品となるよう商品化を目指す。
4	ICT・AI技術を活用した全自動給液システムによるトマトの栽培の実証研究	ひょうごトマト研究グループ		スマート農業の生産現場への実装化、トマトの収穫量及び品質向上の生産ノウハウ構築を目指す。

平成30年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	伝統野菜を活用した商品開発と販路拡大事業	伝統野菜活用協議会	尼崎商工会議所	尼崎の伝統野菜「尼諸（あまいも）」を使用した新商品や他の尼崎の特産品（「尼の生醤油」、「尼みつ」）との連携商品を開発し、販路拡大を目指す。
2	地域グルメを活用した新商品開発事業	尼崎地域グルメ活用ネットワーク	尼崎商工会議所	尼崎あんかけチャンポンが尼崎観光の「食」の目玉となることを目指し、商品開発や販路拡大に取り組む。
3	イースターイベント定着事業	西宮イースターイベント実行委員会	西宮商工会議所	商品開発、イベント開催、ウェブでの情報発信を通じてイースターイベントの普及を目指す。
4	西宮産の酒粕を使った新商品開発事業	酒粕研究会	西宮商工会議所	西宮ブランドとなる酒粕を使った新商品開発、販路開拓に取り組む。
5	宝塚から新しい「食」の提案	宝塚ローカーボ推進委員会	宝塚商工会議所	食（ローカーボ）を通して美と健康をテーマに宝塚への観光を目指す。
6	地元素材「酒粕」「くすのき」をつかった商品開発	自然をちからに	宝塚商工会議所	「乙女の舞」酒粕を活用した化粧品、市内伐採のクスノキを利用した防虫剤の開発に取り組む。
7	モッタイナイ精神が活きる明石新名物開発事業	明石もりあげ隊フード開発チーム	明石商工会議所	これまで廃棄処理されていた食材を活用し、明石の新名物の商品開発及び販路開拓を目指す。
8	明石ブランド開発事業	明石商工会議所青年部	明石商工会議所	イカナゴの魚鱗を材料として開発した万能ダシ「海峡の恵み」の販路開拓に取り組む。
9	帋屋【Kamiya】 〜All made in 兵庫。世界でここにしかないペーパーバッグ〜	帋屋製作委員会	明石商工会議所	杉原紙を素材として開発されたペーパーバッグの販路開拓に取り組む。
10	amenomaブランド開発プロジェクト	amenoma	三木商工会議所	「amenoma（アメノマ）」ブランドとして開発された三木刃物の量産化及びブランドの構築を目指す。
11	ひめじ創業ネットワーク支援事業	ひめじ創業ネットワークグループ	姫路商工会議所	成功・失敗事例等を盛り込んだ先輩創業者によるパネルディスカッション等を通じて参加者間の人脈拡大や情報共有を図る。
12	姫路IT化支援異業種交流会	姫路IT化支援グループ	姫路商工会議所	ITを生業とする事業所とITに課題を持つ事業所が交流する場を設け、各事業所のITの導入や推進に繋がる機会を創出する。
13	滞在型観光を目指したインバウンド対策事業	姫路の観光を考える会	姫路商工会議所	外国人観光客に向けたナイトマップの作製、外国語対応飲食店メニューの作成、姫路滞在型モデルルートの作成によるインバウンド対策。
14	淡路島エッセンシャルオイル「Suu」新商品開発事業	「Suu」ブランド化推進グループ	洲本商工会議所	淡路島の素材を使って開発したアロマテラピー用のエッセンシャルオイル「Suu」の販路拡大、ブランド化を目指す。
15	島の木利用開発事業	島の木利用開発研究会	洲本商工会議所	木材を扱う異業種の事業者の連係により開発された、淡路島産木材を使った家具や玩具等の販路開拓を目指す。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	落花生の安定した生産と需要拡大・落花生を活用した特産品開発	上郡町商工会特産品検討委員会	上郡町商工会	ジャンボ落花生及び規格外の落花生を活用した加工品等の商品開発を目指す。
2	小規模集荷集約農業による販路拡大事業	佐用町農産物流通振興会議	佐用町商工会	農産物販売事業者、農業者等が連携して、売れ筋情報や農法等を指導し、「売れる野菜づくり」に取り組む農家の拡大と販売促進を目指す。
3	炭素過活性炭使用の土壌改良材活用による循環型農業づくりでの地域活性化	佐用農イノベーション推進委員会	佐用町商工会	葉菜類、果菜類、根菜類など野菜の種類に応じた炭素過活性炭入り土壌改良材の開発に取り組む。
4	「日本酒発祥の地 宍粟」による地酒と食のコラボ事業	山崎中心市街地活性化委員会	宍粟市商工会	新商品（地酒）「三笑」を観光アイテムとし、宍粟市の交流人口増を目指す。
5	簡易木材強度計を活用した地域ブランド材供給モデル事業	しそ材ブランド化推進グループ	宍粟市商工会	簡易木材強度計によって選別された地域材の販路開拓及び強度計の改良に取り組む。
6	海上タクシー事業の開業を基軸とした地域振興事業	かすみ海上タクシーの運転を実現する会	香美町商工会	地域を代表する観光ツールとしての海上タクシー事業の開始を目指す。
7	異業種のアイデアを活かした高齢者向け遊具『ピタッ』の販路開拓	丹波市商工会アイデア発明委員会	丹波市商工会	高齢者等の健康維持・コミュニケーションツールとして開発したゲームの福祉施設等への販路開拓に取り組む。
8	淡路島の家開発事業	淡路島の家研究会	淡路市商工会	淡路島産の木材や土、紙、石などを建材として活用するための加工技術や流通方法の構築に取り組み、島内の素材を使った住宅の販売促進を目指す。
9	淡路島の地域資源を活用したプレミアム商品の開発	プレミアム商品開発委員会	南あわじ市商工会	メーカー、生産者、バイヤーが一体となって淡路島産の地域資源を活用したプレミアムな商品の開発を目指す。
10	南あわじ地域貢献型新たなビジネスモデル創出事業	南あわじ地域貢献型ネットワーク	南あわじ市商工会	NPO法人、デザイナー、卸売業者、農業者等が連携して、「障害者等の就労弱者の仕事づくり」を目指し、開発した淡路島の物産詰め合わせギフトや加工品の販路開拓に取り組む。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	多品種少量生産にも対応するロボット導入研究	ロボット導入研究会	兵庫工業会	ロボットメーカー、システムインテグレーターとともに多品種少量生産の現場におけるロボットの導入検証を行う。
2	ネット社会・グローバル化における企業防衛力向上	企業法務研究会		内的要因（人事、労務管理等）、外的要因（契約、訴訟、敵対的買収等）の両側面からの企業リスクに対応する法務知識のスキル向上を目指す。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	被災地インフラ提供設備の開発	NSKビジネス検討会被災地情報インフラ促進チーム	兵庫県工業技術振興協議会	災害備蓄品を供給する被災ベンチの製品化及び販路開拓を目指す。
2	ヘアケア剤&ヘアブラシ開発プロジェクト	ヘアケア剤&ヘアブラシ開発グループ		ヘアカラー及びパーマヘアに特化したヘアケア剤及び併用するヘアブラシの開発に取り組む。

■兵庫県中小企業団体中央会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	淡路島産の山と海のジビエを有効活用した、安心安全なペットフードの開発と販売促進	淡路島産ペットフードを普及する会	兵庫県中小企業団体中央会	淡路島産の海と山のジビエ（サメ・エイ・鹿・イノシシ等）を有効に活用した無添加ペットフードの開発・販売を目指す。
2	自主設計による車両戸袋モジュール開発	鉄道車両モジュール化研究会		異なる車両メーカーへも対応できる、電車車両の側引き戸部分の戸袋モジュール化を目指す。
3	軽量バックパック型折り畳み車椅子開発	車椅子プロジェクト		軽程度障害で活動のできる要支援者を対象とした、軽量かつコンパクトな車椅子開発を目指す。
4	姫路白なめし革再生プロジェクト	姫路白なめし革再生プロジェクト		現在途絶えてしまっている「白なめし革」の技術を復興し、その技術を活かした製品開発を進める。

平成29年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	有馬山椒を活用した商品開発と販路開拓、ブランド構築事業	有馬山椒プロジェクト実行委員会	神戸商工会議所	食料品製造業・小売業者や飲食店、旅館等が、マーケティングやデザインを考慮しながら有馬山椒を活用した新商品を開発し、販路開拓を目指す。
2	「神戸タータン」を活用した、神戸の生活文化産業の情報発信	神戸タータン協議会	神戸商工会議所	神戸市内の商業者が共同で作成したチェック柄のデザイン「神戸タータン」を活用した商品（雑貨、食品等）のブランド化と販路開拓を目指す。
3	尼崎食育ビジネス研究事業	尼崎食育ビジネス研究会	尼崎商工会議所	市内の飲食店が連携して、食育の要素を採り入れたメニュー開発や体験教室の開催等に取り組み、新たなファンづくりと売上増加を目指す。
4	尼崎着地型観光研究事業	尼崎着地型観光研究会	尼崎商工会議所	個人・少人数の観光ニーズに対応する体験プログラムや、点在するコンテンツを組み合わせた着地型観光商品を開発し、市内への誘客を目指す。
5	西宮ギフトセレクション開発事業	西宮ギフトセレクション研究会	西宮商工会議所	WEB制作者、デザイナー、食料品製造業者等が連携して、西宮の逸品をセレクトしたギフトカタログを作成し、販路開拓を目指す。
6	「木接太夫」のブランド化と宝塚山本地区活性化プラン	宝塚市山本総合園芸組合	宝塚商工会議所	約500年前に接ぎ木の技術を発明した「木接太夫」の功績を後世に伝えるためのプロジェクトを計画するとともに、ブランド商品を開発し、新たな土産品としての販売を目指す。
7	Kakoスイーツ再発見プロジェクト	Kakoスイーツ再発見プロジェクトチーム	加古川商工会議所	菓子店、飲食店、農家等が連携して、加古川の和洋菓子を「Kakoスイーツ」として情報発信し、メンバーの各店舗への誘客を目指す。
8	ゴルフ場刈芝再利用研究プロジェクト	刈芝再利用研究会	三木商工会議所	ゴルフ場廃棄物の刈芝を炭化することで肥料や土壌改良材等に活用するモデルを構築し、ゴルフ場への導入コンサルティングや製炭炉発電システムの研究開発、PR、販売促進等を目指す。
9	播州織ブランド周知拡大事業	播州織ブランド委員会	西脇商工会議所	播州織ブランドの効果的な周知及び販路開拓や商品開発について研究する。
10	酒米「山田錦」の米粉を用いた菓子創作プロジェクト	酒米「山田錦」の米粉を用いた菓子創作推進グループ	姫路商工会議所	蔵元と菓子業者が協力して、酒造りの過程で生じる山田錦の米粉を素材とした新しい菓子づくりに取り組むとともに、販路開拓を目指す。
11	ものづくりIT研究会事業	豊岡市工業会ものづくりIT研究会	豊岡商工会議所	ものづくり現場の共通課題の解決に有用かつ実装可能なIT技術を研究し、工程自動化やリードタイム短縮等の生産性向上を目指す。
12	日本みつばちをコンセプトにした「カヌレ」の商品開発	farm studio	洲本商工会議所	養蜂家、農家、観光プランナーが連携して、蜂蜜を使った焼き菓子「カヌレ」を開発し、効果的なデザインや広報手法を採り入れながら販路開拓を目指す。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	“Made in 芦屋”老舗の味詰め合わせ商品開発・販路開拓	芦屋新世会	芦屋市商工会	芦屋市内の老舗事業者の異業種グループが、地元で永く愛される名産品の詰め合わせを「Made in 芦屋」として商品化し、販路開拓を目指す。
2	農商工連携による情報発信と集客力の向上	稲美町商工会異業種交流プロジェクトチーム	稲美町商工会	食と体験をテーマに、生産者と商業者が連携したイベント開催や、大学・若者と連携した情報発信により、稲美町内に「人・もの・金」が持続的に流入する仕組みの構築を目指す。
3	異業種交流による地域活性化事業	播磨産学連携交流会	播磨町商工会	播磨町の地域資源や技術を生かした菓子や雑貨等の加工品を「播磨の食」、「播磨の技」として認定し、共通のロゴマークのもと町内外での販路拡大を目指す。
4	塩田温泉郷ブランド商品販売促進支援事業	姫路市商工会 塩田温泉郷ブランド協議会	姫路市商工会	旅館、ハーブ・加工品製造業者、デザイナーが連携して開発した、鉱泉とハーブを使った石鹸、ハンドクリーム、入浴剤について、市内や近隣府県の百貨店等での販売促進に取り組む。
5	つるい元気農園でとれたさつまいも等を活用した新商品開発	つるい元気農園 新商品開発グループ	市川町商工会	農家と製菓業者、飲食店等が連携し、特産品のさつまいも等を活用した新商品の開発と販路開拓を目指す。
6	「ゴルフ用具」等地域資源を活かした商品・サービス・製品開発	地域資源活用検討委員会	市川町商工会	ゴルフ用具の製造技術や、製造過程で出る廃棄物を活用し、国産ゴルフクラブ発祥の地である市川町の新たな名物になる土産物等の商品開発を目指す。
7	特産品開発研究会	福岡町商工会 特産品開発研究会	福岡町商工会	福岡町出身の民俗学者、柳田國男ゆかりのヤマモモを使った加工品の開発とブランド化、販路開拓を目指す。
8	異業種交流による地域活性化事業	たつの市商工会 異業種交流委員会	たつの市商工会	農家と食品製造業者等が連携し、トマト、バジル、桑の実等の地元産素材を使用した新商品開発と販路開拓を目指す。
9	地元産の素材を使った「たつの市特産品」の販路開拓	たつの市商工会 特産品販路開拓支援委員会	たつの市商工会	地元産の牡蠣を使って開発した商品（醬油、ぼん酢、オリーブオイル漬け、缶詰）について、展示会出展や情報発信等によって販路拡大に取り組む。

■商工会関係

10	日高地域における里山体験メニューの開発と販路開拓事業	里山を遊ぶ会	豊岡市商工会	日高神鍋高原 I C の開通を契機に、日高地域の若手農業者、商業者、宿泊業者等が連携し、都市部の子どもやファミリー層向けの里山体験や農業体験メニューの開発と販路開拓を目指す。
11	農家民泊・田舎体験プログラムによるニューツーリズム創出事業	ニューツーリズム創出研究委員会	豊岡市商工会	但東地域の宿泊業者、小売業者、農家等が連携して、地域資源を再発見し、特色を生かしたニューツーリズム等の事業展開を目指す。
12	竹野おとなりまち紀行	豊岡市商工会竹野支部	豊岡市商工会	竹野地域の旅館、飲食店、観光事業者、食品製造業者等が提供する体験・観光メニューについて、共同して情報発信、販路開拓に取り組む。
13	地域資源を活用したグルメ開発並びに販路開拓事業	新温泉町商工会グルメ開発推進協議会	新温泉町商工会	宿泊・飲食業者、食品製造業者、バス会社等が連携し、新温泉町の地域資源である浜坂地えびを素材にした宿泊プラン、飲食メニューを開発して閑散期の集客につなげる。
14	地域食材有効活用促進事業	酒粕を活かす！女性事業者の会（酒香寿倶楽部）	養父市商工会	現在は処分されている地元酒造業者の酒粕について、食品やコスメ、レシピ開発等の幅広い活用方法を研究し、商品化を目指す。
15	「ミニチュアガーデン」による地域活性化事業	丹波市商工会建設部会	丹波市商工会	造園業者、建設業者が連携して、商店や事業者に対し、集客力向上につながるミニチュアガーデンの施工受注を目指した販路開拓に取り組む。
16	デカンショセレクション認定事業	デカンショセレクション実行委員会	篠山市商工会	篠山市内の逸品を「デカンショセレクション」として選定し、全国に向けた情報発信とブランド化に取り組み、販路開拓を目指す。
17	淡路島の有機肥料から始める循環型農業の商品開発と情報発信事業	鋤ラボ	淡路市商工会	循環型農業をテーマに、有機肥料を生産する畜産・農業関係者と、それを使用する農家・流通関係者やデザイナー等が連携して、発酵鶏糞及び菜種油粕の販路拡大に取り組む。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	丹波・但馬地区における会員企業異業種連携に向けた近隣ものづくり情報交換会	丹波地区・但馬地区ものづくり企業情報交換会	兵庫工業会	丹波・但馬地域のものづくり企業が、近隣企業の相互理解を深める異業種交流活動を通じて、各企業の課題発見と工程改善や、相互取引、共同商品開発等に繋げることを目指す。
2	北播磨・阪神地区における会員企業異業種連携に向けた近隣ものづくり情報交換会	北播磨・阪神地区ものづくり企業情報交換会		北播磨・阪神地域のものづくり企業が、近隣企業の相互理解を深める異業種交流活動を通じて、各企業の課題発見と工程改善、相互取引、共同商品開発等に繋げることを目指す。
3	東播磨・淡路地区における会員企業異業種連携に向けた近隣ものづくり情報交換会	東播磨・阪神地区ものづくり企業情報交換会		東播磨・淡路地域のものづくり企業が、近隣企業の相互理解を深める異業種交流活動を通じて、各企業の課題発見と工程改善、相互取引、共同商品開発等に繋げることを目指す。
4	西播磨・中播磨地区における会員企業異業種連携に向けた近隣ものづくり情報交換会	西播磨・中播磨地区ものづくり企業情報交換会		西播磨・中播磨地域のものづくり企業が、近隣企業の相互理解を深める異業種交流活動を通じて、各企業の課題発見と工程改善、相互取引、共同商品開発等に繋げることを目指す。
5	中小メーカーによる製品・企業ブランディング研究会	ブランディング研究会		デザイナーとものづくり企業が連携してマーケティングとブランディング戦略について研究し、自社の商品展開への反映を目指す。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	温浴機の湯温最適化実現と同制御機構の開発・実証	温浴機の快適性研究会	兵庫県工業技術振興協議会	設備工事業、電子部品製造業、美容業者等が連携して、試作段階の温浴機について、温度制御機能の付加やモニタリング調査等により製品化を目指す。
2	包装技術による6次産業化支援アイデア創出事業	包装による6次化支援チーム		包装資材製造業者や農業・漁業関係者等が連携し、農水産物の輸送中の損傷を軽減する包装資材の製品化、販路開拓を目指す。
3	播州織少量ファッション製品化計画	播州織少量ファッション製品化検討チーム		播州織の小ロット生産システムを活用し、若手デザイナーと連携したファッション製品の開発・販路開拓を目指す。
4	野生鹿を優しく生体捕獲するための基盤技術の実証実験	獣害対策研究会		捕獲の現状を改革し、上質な鹿肉を安定的に供給するため、鹿を優しくかつ連続的に生体捕獲するための技術開発を進める。

■兵庫県中小企業団体中央会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	IT活用技術および諸テーマを共に研究することにより、最新情報の共有、利用技術の向上および、事業連携等を目指す	ひょうごIT研究会	兵庫県中小企業団体中央会	最新のIT技術について専門家から話を聞き、成功している事例を研究し、効果的に活用することで、参加メンバーの情報発信、生産性向上に生かす。
2	メンバーシップを核とした中小企業間取引モデル研究	HBN		ビジネスパートナーの開拓に繋がるパートナー情報や、コミュニティ機能を付加したビジネスマッチングモデル構築の研究をする。
3	ミネラル供給による付加価値の高い豊岡産農産物・魚介類の生産と特産品の開発	豊岡産、自然再生型特産品開発グループ		ミネラルが不足する土壌や養殖漁業に「鉄ミネラル供給剤」を提供することにより、味覚が良く品質の高い農産物や魚介類の生産支援に取り組む。

平成28年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	統一コンセプトに基づいた商品ならびにサービス開発と販路開拓事業	神戸べっぴんものがたり実行委員会	神戸商工会議所	神戸観光に訪れる女性等をターゲットにした「神戸べっぴんものがたり」ブランドにおいて、新サービス商品（宿泊プラン、ツアー等）を開発するほか、土産物の新商品も開発し販路開拓を目指す。
2	尼崎のご当地グルメPR事業	尼崎ご当地グルメ推進委員会	尼崎商工会議所	増加している外国人宿泊客に尼崎のご当地グルメ「尼崎あなかちゃんぽん」を売り込むとともに、お土産品の新商品開発に取り組む。
3	地域産品を活用した商品の開発並びに販路開拓事業	地域産品活用協議会	尼崎商工会議所	尼崎特産品「尼蒔（あまいも）」を素材にして開発した商品（蔓の佃煮）について、新たに業務用パックを開発して弁当仕出業や飲食業等に販売するとともに、工程・製造コストの改善に取り組む。
4	起業家連携事業	起業家連携グループ	西宮商工会議所	起業した異業種の事業者が連携して、土業を中心としたワンストップの新サービスをはじめ、共同での新商品開発や情報発信、販路開拓に取り組む。
5	西宮スイーツのブランド力と発信力の強化および経営技術向上事業	西宮スイーツブランド発信事業実行委員会	西宮商工会議所	洋菓子店や情報サービス業者、観光業者等が連携して、西宮スイーツの新商品開発や認知度向上に取り組むとともに、事業を通じた若手経営者の経営力向上を目指す。
6	宝塚西谷産エディブルフラワーをつかった新商品開発	宝塚西谷産ダリアで盛り上げ隊	宝塚商工会議所	無農薬栽培の宝塚西谷産ダリアを使った食品（スイーツ、ピクルス等）や雑貨（石鹸等）を開発し、販路開拓を目指す。
7	異業種連携による地域活性化事業	西谷憩いの会	宝塚商工会議所	新名神・宝塚北スマートインターの開設に伴い増加が見込まれる来訪者を対象に、飲食や特産品の販売や情報発信に取り組む。
8	「宝塚 花の里・西谷」ブランドプロモーション	「宝塚 花の里・西谷」ブランド協議会	宝塚商工会議所	宝塚西谷の食品やモノを、「宝塚花の里・西谷」ブランドとして認定し、統一ロゴによるPR、認知度向上に取り組み、地元店舗、サービスエリアや市外での販路拡大を目指す。
9	明石ブランド開発事業	明石商工会議所青年部	明石商工会議所	イカナゴの魚醤を原材料にした「焼麺（焼きそば）用のタレ」を開発し、広報や展示会等を通して販路開拓に取り組む。
10	帗屋【Kamiya】 ～All made in 兵庫。～世界でここにしかないペーパーバッグ～	帗屋製作委員会	明石商工会議所	身近で日用使いできる製品により、兵庫が誇る伝統産業である紙産業にスポットが当たることを目指し、兵庫県内の和紙や加工紙を素材としたペーパーバッグの製造・販売に取り組む。
11	amenoma ブランド開発プロジェクト	amenoma（アメノマ）	三木商工会議所	現在開発中のペーパーナイフやカトラリー等の三木刃物を「amenoma（アメノマ）」ブランドとして商品化して販路開拓に取り組むとともに、量産化に向けた検討を行う。
12	姫路ビジネス交流会	姫路ビジネス交流会グループ	姫路商工会議所	異なる業種の企業が交流して相互の理解を深め、新たな取引やコラボレーションによる商品開発等に結びつけることを目指す。
13	ひめじ創業ネットワーク	姫路創業ネットワークグループ	姫路商工会議所	創業予定者や創業間もない企業が、人脈の拡大と情報交換、課題解決等を図る交流会を開催し、新たなビジネスチャンスの創出を目指す。
14	相産高校生と共に創る相生特産品開発	相産高校生と共に創る相生特産品開発プロジェクトチーム	相生商工会議所	相生で生産される農産物・水産物を使用し、生産者や企業と高校生が連携して、高校生の発想でこれまでに無い相生の名物を開発し、販路開拓を目指す。
15	相生特産「牡蠣」による機能性食品認証取得事業	あいおいサプリメント研究会	相生商工会議所	相生産の牡蠣粉末を充填したカプセルを、機能性食品として表示可能なサプリメントとして開発、販売を目指す。
16	島の木利用開発事業	島の木利用開発研究会	洲本商工会議所	木材を扱う異業種の事業者の連携により、淡路島産木材を使った家具や玩具等の新商品を開発し、販路開拓を目指す。
17	淡路島産エッセンシャルオイル「Suu」新商品開発事業	「Suu」ブランド化推進グループ	洲本商工会議所	淡路島の素材を使って開発したアロマテラピー用のエッセンシャルオイル「Suu」について、新商品を開発するとともに、デザインの改良や広報を行い、販路拡大を目指す。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	平成名水百選「松か井」を活かした地域活性化	北播磨の名水を活かした特産品開発グループ	多可町商工会	平成の名水百選に選定された「松か井の水」とコラボした新たな特産品のニーズ調査、開発研究に取り組む。
2	水産資源を利用した地域活性化研究事業	坊勢活性化委員会	姫路市商工会	食品小売業、宿泊業、漁業者等が連携して、水産資源を利用した坊勢ブランドの特産品や魚料理の新メニュー開発を目指す。
3	かみかわ生活支援プロジェクト構築事業	かみかわささえあいネットグループ	神河町商工会	町内の高齢者等生活支援サービス事業者が参画する「かみかわささえあいネット」を設立し、連携体制づくりや対応窓口の設置、PR等を行い、高齢者等生活支援サービスの受注促進を目指す。
4	共同販売促進事業	共同販売促進事業推進委員会	太子町商工会	町内の小売業者やサービス業者等が連携して、大型店には無い新たな付加価値のある商品やサービスの開発と販路開拓に取り組む。
5	「モロヘイヤスープ」新商品開発・販路開拓による地域ブランドの認証と新たな特産品の発見	上郡町商工会異業種交流グループ	上郡町商工会	上郡産モロヘイヤを使ったスープを、栄養価分析やモニタリング調査等を踏まえて開発するとともに、専門家やデザイナー等の助言も得て、効果的なPR、販路開拓を目指す。
6	農業×IT 農場整備自動化開発プロジェクト	イノベーションミール	佐用町商工会	農業が高齢化する中、草刈機・トラクターの自動化やドローンでの農薬・肥料の散布など、ITの使用による簡素化・軽減化を図り、勘と経験に頼らず誰でも出来る農業の実現を目指す。
7	小規模集荷集約農業による販路拡大事業	佐用町農産物流通振興会議	佐用町商工会	減反政策の影響で田畑が余る中、ケーブルテレビを通じて、出荷用の野菜作りや包装などのノウハウを伝え、商品として販売する野菜を供給できる出荷農家の数を増やすことを目指す。
8	「酒蔵が集まる城下町山崎」活性化事業	山崎中心市街地街並み活用グループ	宍粟市商工会	小売業者、飲食業者、酒造業者、ITサービス業等が連携し、森のイメージと酒蔵・町屋等の資源を融合させた「森の商店街」をコンセプトに、商品展開、店舗づくりや情報発信等に取り組む。
9	簡易木材強度計を活用した地域ブランド材供給モデル事業（強度性能表示材）	しそ材地域ブランド化推進グループ	宍粟市商工会	安価で簡易な木材強度計の実用化と効率的な製材システムの開発（装置の商標登録）と、「しそ認証材（仮称）」としての地域ブランドの確立を目指す。
10	地域経済の活性化に向けた特産品開発事業	朝来市商工会青年部	朝来町商工会	若手後継者・経営者が連携して、竹田城跡を訪れる多数の観光客をターゲットとした特産品の開発・販売に取り組むとともに、事業を通して若手経営者の育成を目指す。
11	『異業種のアイデアを活かした高齢者向け遊具の開発』	丹波市商工会アイデア発明委員会	丹波市商工会	高齢者から子供に向けた脳トレゲームとして、トランプの神経衰弱ゲームをもとにした「ビタシ」の開発と製品化に成功した。高齢者施設などへの販売のほか、丹波市外での販路拡大を目指す。
12	淡路島の家開発事業	淡路島の家研究会	淡路市商工会	淡路島産の木材や土、紙、石などを建材として活用するための加工技術や流通方法の構築に取り組み、島内の素材を使った住宅の開発、販売を目指す。
13	五色町のこだわり農作物を利用した商品の市場調査及び販路開拓	島のオーガニック	五色町商工会	小売・卸売業者、農業者等が連携して、消費者やバイヤーへの調査を踏まえ、有機栽培にこだわった農産物を使った加工食品の開発と販路開拓を目指す。
14	『あわじのくにブランド』の確立	『あわじのくにブランド』プロジェクト推進協議会	南あわじ市商工会	「地元だけが知る本物の農産物、水産物、加工食品等」を選定し、パッケージを統一したプライベートブランドをつくり、品質にこだわる顧客への販路開拓を目指す。
15	南あわじ地域貢献型新たなビジネスモデル創出事業	南あわじ地域貢献型ネットワーク	南あわじ市商工会	障害者等就労弱者の仕事づくりを通じたビジネスモデルとして、「淡路島おかき」や「淡路島お鍋セット」などの新商品戦略と広報手段により、若年層や都市部を対象として商工業者の販路拡大を目指す。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	食品関連産業における課題調査・次世代マーケット開拓事業	食品・ヘルスケア関連事業研究会	兵庫工業会	食品、ヘルスケア産業における国内外のニーズを調査するとともに、そのニーズに対応する商品開発や品質管理体制の構築等を目指す。
2	製造現場相互視察・評価・実践による生産性向上事業	生産現場改善研究会		機械器具、金属製品、プラスチック製品等の異なる分野の製造業者が相互の現場を訪問して意見交換等を行い、工程の改善やノウハウの構築を目指す。
3	情報化社会における企業防衛・IoT・ロボット活用研究会	情報セキュリティ・IoT・ロボット活用研究会		最新のIoT及びロボット技術を活用した事例や情報セキュリティ対策について研究し、参加企業が相互研鑽して生産性やリスク対策の向上を目指す。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	高齢者等の行動支援サービスの開発と実証	NSKビジネス検討会高齢者等の行動支援サービス検討チーム	兵庫県工業技術振興協議会	人の動態のセンシング技術及びIoT技術を活用し、高齢者や大規模施設の来訪者等にガイドを行う「行動支援サービス機器」の開発を目指す。
2	振動減衰に優れた複合材料を使用した新商品の開発	コンポジット応用開発研究会		難素材（チタン等）を旋盤加工する際に課題となる振動を減衰させるため、複合材料を使って振動減衰の優れた「刃物台」を研究・開発し、実用化を目指す。
3	新規微生物の確立と創製並びに情報発信	はりま酒文化協議会ブランド発信部会		新規微生物を使用して開発した「庭酒」について、酒の種類（吟醸・純米等）に応じた酵母等に改良するための実験・研究を行うとともに、観光と連携した付加価値の向上、販路開拓に取り組む。

平成27年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	統一コンセプトに基づいた商品開発と販路開拓事業	神戸べっぴんものがたりプロジェクト実行委員会	神戸商工会議所	神戸を観光で訪れる女性や神戸が好き女性をターゲットに、美容と健康をコンセプトにした新たな神戸土産品を開発し、統一ブランド「神戸べっぴんものがたり」として販路開拓を目指す。
2	尼崎おもてなし研究事業	尼崎おもてなし委員会	尼崎商工会議所	外国人来訪者向けの体験型観光プランの開発や、異業種の連携によるオール尼崎での「おもてなし」体制の構築に取組み、外国人を対象とした観光ビジネスを推進する。
3	西宮地域商品開発事業	西宮地域商品開発研究会	西宮商工会議所	デザイナー、情報通信業、小売業者等が連携し、西宮の名所・風景をモチーフとした段ボールクラフトの置物や絵はがき等を開発し、新しい土産品として販路開拓を目指す。
4	異業種連携によるインバウンド観光	西宮観光協会	西宮商工会議所	観光事業者や宿泊業者等が連携して、台湾人を中心とした外国人観光客が市内を周遊するコースをつくり、インバウンド観光を推進する仕組みの構築を目指す。
5	青年経営サポーター研究会販路開拓事業	青年経営サポーター研究会	伊丹商工会議所	青年専門家（税理士、社会保険労務士、行政書士等）が水平連携し、事業所からの経営相談に対する適切な専門家のマッチングを図り、新たな顧客の獲得を目指す。
6	国包建具新商品開発プロジェクト	国包伝承会	加古川商工会議所	地場産業の国包建具を再興するため、「組木」の技術を活かしたオリジナルの行灯やコースター等の開発・販路開拓に取り組み、国包ブランドの構築を目指す。
7	ゴルフ場刈芝再利用研究プロジェクト	刈芝再利用研究会	三木商工会議所	ゴルフ場から一般産業廃棄物として排出される刈芝について、メタン発酵によるエネルギー利用や堆肥化など、処理・再利用の方法を研究し、実用化を目指す。
8	「龍野淡口醤油ラーメン」開発プロジェクト	龍野商工会議所青年部 龍野特産品開発チーム	龍野商工会議所	食料品製造業者や畜産業者、飲食料品小売業者等が連携して「龍野淡口醤油」を素材にしたラーメンを開発し、お土産品としての販路開拓を目指す。
9	多元素天然鉱石商品開発事業	AKEものづくり研究会	赤穂商工会議所	低放射線を含み細胞を活性化させる多元素天然鉱石を合成樹脂に混ぜこんだシートを開発し、健康用品としての商品化及び販路開拓を目指す。
10	城内異業種連携促進事業	豊岡市工業会	豊岡商工会議所	参加企業の連携を促進し、グループ内の相互取引の拡大や新商品・新事業の開発を目指すとともに、地域外の企業との新たな連携を模索する。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	スマートフォンアプリ”はないち”活用による連携創出事業	阪神地区若手経営者・後継者等	芦屋市商工会	阪神地域の若手経営者等が、「顔」が見える情報を発信するアプリを運用し、相互取引や、販売促進等の機会創出を目指す。
2	パイロットプロジェクト〜かわにし観光力魅力創造・異業種交流事業〜	パイロットプロジェクト委員会	川西市商工会	城跡や銅製錬所跡等の歴史的資源を有する川西市東谷地区において、多様な地域団体の連携のもと、人との繋がりや体験を重視した着地型観光の開発を目指す。
3	新商品開発販路開発プロジェクト	三田市商工会青年部	三田市商工会	ご当地グルメとして地域イベント等で販売してきた「三田★牛ブラック焼きそば」を改良するとともに、新たなコンセプトと味付けによる焼きそばの開発と販売を目指す。
4	吉川地域活性化のための観光クラスター研究	吉川町商工会商業活性化対策委員会	吉川町商工会	吉川町を訪れるゴルフ客等を町内の商業施設等に誘客し、町内の商業者や農業者に経済効果をもたらす仕組みの構築を目指す。
5	農商工連携による地域活性化	稲美町商工会異業種交流グループ	稲美町商工会	稲美町産の農作物を使い、食品製造加工業者や農家、飲食業者、情報通信業者等の連携による特産品の開発及び販路開拓を目指す。
6	異業種交流による地域活性化事業	地域産品活用グループ	播磨町商工会	地産地消を目指して、食品製造加工業者、飲食業者、漁協等が連携し、地域産品（あなご、たこ、のり、水耕野菜）を活用した新商品開発及び販路開拓に取り組む。
7	地域ブランド商品開発・販路開拓支援事業	姫路市商工会地域ブランド研究会	姫路市商工会	温泉旅館業と農業、食料品製造業等が連携し、胃腸病に効能がある塩田温泉の鉱泉を利用した食品を開発・販売するとともに、特産品としてPRし、観光客の増加につなげる。
8	ブランド創出・PR事業	市川町商工会名物研究会	市川町商工会	農業生産者と加工業者、販売者が交流する場を創り、消費者ニーズを踏まえた新商品開発や販路開拓に取り組む。
9	若手経営者・後継者による地域資源を活用したお土産・特産品の開発	市川町商工会青年部地域活性化委員会	市川町商工会	若手経営者等を中心に、市川町の食材（卵・牛乳等）を使った新たなお土産・特産品を開発し、販路開拓を目指す。
10	地元産の素材を使った新商品開発と既存特産品の販路開拓	たつの市商工会地域特産品研究会	たつの市商工会	特産品「牡蠣しょうゆ」の量産体制を確保し、販路開拓に取り組むとともに、地元産の素材を使った新商品の開発・販売を目指す。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
11	「佐用ひまわり地鶏」普及事業	食文化研究会	佐用町商工会	飲食店や農家、高等学校が連携して開発した特産品「佐用ひまわり地鶏」の関連商品（地鶏鍋、地鶏丼等）について、取扱店舗の募集や普及活動を行い、販路開拓を目指す。
12	異業種間連携を構築し竹野発豊岡の特産品を開発する事業	豊岡市商工会竹野支部	豊岡市商工会	食品製造業者や飲食業、宿泊業等が連携し、地域産品を活用したスイーツや土産物等の新商品を開発するとともに、フェイスブックでの情報発信等による販路拡大を目指す。
13	産業用ベルト及びその周辺部品の製造自動化プロジェクト	YSMBグループ	香美町商工会	産業用ベルト・周辺部品の製造工程において人力で行っている「バリ取り」作業の自動化に向けた研究を行うほか、研究成果を活かした医療分野でのベルト・周辺部品の受注を目指す。
14	モノづくり力発信事業	新温泉町商工会工業部会	新温泉町商工会	地場産業や地域資源活用商品の町内外へのPR及び販路拡大のため、産業展の開催やホームページ等での情報発信に取り組む。
15	新温泉町「交流人」対策事業	新温泉町商工会観光サービス部会	新温泉町商工会	消費者から見た新温泉町の地域資源に対する認知度やイメージ等を把握した上で、地域資源を活用した効果的な観光プロモーション戦略を立案し、旅行会社等への提案、販売促進を行う。
16	淡路市異業種交流事業	淡路市異業種交流会	淡路市商工会	異業種の企業による交流や意見交換を通して、自社の経営課題とその対応方法への新たな認識を得るとともに、参加企業同士の連携による新サービスの提供等を目指す。
17	淡路島の有機肥料から始める循環型農業の商品開発と情報発信事業	鋤ラボ	淡路市商工会	循環型農業をテーマに、有機肥料を生産する畜産・農業関係者と、それを使用する農家・流通関係者等が連携して、発酵鶏糞や菜種油粕の販路開拓、他の有機肥料の開発などを目指す。
18	淡路島食材・素材を用いた燻製商品（チップ等）の開発事業	淡路島燻製部	淡路市商工会	農家や水産加工業者、デザイナー等の連携により、島食材の食し方のみならず、島の素材（伐採した木、玉葱の皮、間引いた柑橘類など）を活用し、燻製チップや燻製鍋の開発を目指す。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	研究者と企業現場の交流による新たなテーマ発掘事業	産学連携ニーズ開拓研究会	兵庫工業会	大学の研究者が企業の現場を訪問し、企業の技術者と交流することを通じて、企業側の現場ニーズを探り、連携による新分野進出等を目指す。
2	企業法務担当者間水平連携検討事業	企業法務研究会		ものづくり企業に特有の法務上の課題（契約時の注意点、注文主・下請企業倒産時の対応等）について、参加企業が相互の経験や知識を活かして連携し、企業法務力の向上を目指す。
3	異業種交流による労働災害の「未然防止活動」向上事業	現場安全研究会		製造現場における作業安全や環境保全について、現場での事例研究や参加企業の相互研鑽により課題解決を図り、安全業務の高度化と経営効率の向上を目指す。
4	品質管理担当者間水平連携検討事業	品質管理研究会		グローバル化を勝ち抜くための魅力ある品質を目指して、現場訪問や討議等を実施し、参加企業が連携して品質管理の向上に取り組む。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	包装技術による6次産業化支援アイデア創出事業	包装による6次化支援チーム	兵庫県工業技術振興協議会	農水産物の鮮度維持や輸送中の損傷軽減のための包装技術について、包装資材製造業者やデザイナー、農業・漁業関係者等が連携して研究し、新たな包装資材等の商品化を目指す。
2	小ロット対応技術による商品多角化展開事業	播州織商品多角化検討グループ		ファッション産業に加え、インテリアなどの新たな素材への導入など、播州織商品の多角化を目指し、小ロット生産対応技術を活用した新たな素材開発と販路開拓を行う。
3	ペット用ヘルスセンサと健康管理アプリの開発	1兆個センサ時代を見据えたビッグデータ応用研究会		無線生体センサーを犬猫の首輪装着用に小型化し、計測データをスマートフォン等に送信してペットの健康管理ができる装置（首輪）及びアプリを開発する。
4	鹿油と酒類製造副産物を使用した化粧品開発	異業種間の資源利用による新規化粧品開発グループ		鹿肉料理店と酒造会社が連携し、鹿油（鹿由来の油）と酒類製造副産物を原材料とした新たな化粧品の開発を目指す。

平成26年度採択案件一覧

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	マイクロ・ナノバブルの利活用推進事業	マイクロ・ナノバブル利活用研究会	神戸商工会議所	冷却、洗浄、腐食防止などの効果を有するマイクロ・ナノバブルの工業、農畜産業、医療分野での実証事例を増やし利活用を推進するとともに、バブル発生装置の開発・販売を目指す。
2	商農工連携 商品・サービス開発事業	商農工連携 商品・サービス開発研究会	神戸商工会議所	商・農・工が連携して、機能性・デザイン性に優れた食品を開発し、大手流通への販路開拓を目指す。
3	灘の酒販路拡大事業	灘酒研究会	神戸商工会議所	日本酒の製法や魅力を海外に向けて情報発信し、「灘の酒」の海外での販路拡大を目指す。
4	尼崎あんかけチャンポンPR促進事業	チーム・尼崎あんかけチャンポン	尼崎商工会議所	ご当地グルメの尼崎あんかけチャンポンの認知度向上を図るとともに、お持ち帰り用商品の販売促進及び夏季向け新商品の開発を目指す。
5	尼蓆（あまいも）ブランド確立へ向けた新製品開発計画	尼蓆の特産品開発協議会	尼崎商工会議所	尼崎特産品「尼蓆（あまいも）」を素材にして開発した商品（蓆（つる）の佃煮）の販売促進や他の尼蓆加工食品と連携した販路開拓を行う。
6	商業活性化研究事業	西宮商業活性化研究会	西宮商工会議所	商業者が、異業種との交流・連携を通して魅力ある商品・サービスを開発するための仕組みづくりを研究し、その実践として販売促進を行う。
7	西宮洋菓子ブランド開発及びイベントの開催事業	西宮洋菓子研究会	西宮商工会議所	西宮洋菓子ブランドとしての共通商品を新たな食材を取り入れて開発し、共同でのブランド化及び販売促進を行う。 （「西宮スイーツ」として お土産に適した新商品を共同で開発）
8	宝塚新商品開発プロジェクト	2014食と農研究会	宝塚商工会議所	H28開通予定の新名神高速道路「宝塚サービスエリア」で販売する新商品（地元産の農産物を使った洋菓子等）の開発を行う。
9	宝塚名産販促・開発事業	宝塚商工会議所青年部	宝塚商工会議所	試作段階の飲料「宝塚すみれシャンメリー」をブラッシュアップし、地域の観光資源やイベントとの連携、WEB等を用いた全国への販路開拓を目指す。
10	明石産学官連携強化事業	明石産学官連携事業連絡会	明石市商工会議所	産学官が交流し、新分野進出等に向けた研究を行うとともに、参加企業等の個別課題の解決を目指す。
11	「道の駅かこがわ」等による販路開拓・研究事業	加古川商工会議所食品商業部会・一般商業部会	加古川商工会議所	「道の駅」の開設について研究するとともに、連携による地元産品の新商品開発や販路開拓を目指す。
12	キッチンツール開発プロジェクト	キッチンツール開発研究会	三木商工会議所	デザイナーと共同して、統一したブランド・コンセプトによるキッチンツールを開発し、販路開拓を目指す。
13	異業種交流による播州織の新商品開発事業	播州織新商品・新素材開発グループ	西脇商工会議所	皮革や鞆等の異業種の技術を取り入れることで播州織の新たな用途・商品を開発し、販路開拓を目指す。
14	播州刃物海外展開事業	播州刃物海外展開プロジェクトチーム	小野商工会議所	地場産品の銚・鎌について、デザイナー等と連携して色・質感等の改良及びブランディングを行い、ヨーロッパ等の新たな市場への販路開拓を目指す。
15	栗生ブライダル関連ビジネス創出事業	栗生ブライダル関連ビジネス創出事業協議会	小野商工会議所	カップル向けの新商品（スイーツ、陶器製品等）や新たなブライダル・サービス（列車ウェディング）の開発・販売を目指す。
16	かさい農商工連携特産品開発推進事業	かさいまちおこし研究会	加西商工会議所	地元食材を使ったカレーのレシピを開発し、新たな加西名物として、飲食店での提供やレトルト商品化を目指す。
17	伴走型異業種交流会	異業種マッチンググループ	姫路商工会議所	異業種の企業が交流し、新たなビジネスを生み出す場を創出して、新商品・新サービスの開発シーズを探り、共同での新商品開発等を目指す。
18	皮革製造業の川下産業進出プロジェクト	皮革製造業川下産業進出プロジェクトチーム	姫路商工会議所	皮革の製造だけでなく、デザイナー等との連携による最終製品の開発に取り組み、小売業進出のためのパートナー探しを行い販路開拓を目指す。
19	ふかしのメロンブランド化推進事業	ふかしのメロンブランド化推進グループ	姫路商工会議所	地場農産物「ふかしのメロン」を加工し、長期保存可能な商品の開発、ブランド化及び販売を目指す。
20	龍野地域「SNS連携共同購入型クーポンシステム」研究会	龍野商工会議所「SNS連携共同購入型クーポンシステム」研究会	龍野商工会議所	共同購入型クーポンと地域SNSの連動による龍野地域独自のサイトを立ち上げ、異業種連携による販路拡大を目指す。
21	「赤穂まちの駅」設立のための調査研究事業	あこうプラザ21	赤穂商工会議所	民間主導で組織する「赤穂まちの駅」の設立を調査研究し、地域情報の発信、交流・連携、販路開拓を目指す。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	異業種交流・連携による多角的開拓事業	三田GOOD MEN'S CLUB	三田市商工会	異業種企業がノウハウを持ち寄って意見交換・調査研究を行い、連携による新分野進出、新商品開発等への展開を目指す。
2	猪名川町の地域資源を使った新規事業についての調査・研究事業	猪名川町地域資源活性化研究会	猪名川町商工会	猪名川町の資源である森林を活かした交流人口の拡大及び地域外資金の獲得につながる自然体験、レストラン等、森林アクティビティに関する新事業の調査・研究を行う。
3	人的交流による事業連携	加東市異業種交流会	加東市商工会	若手経営者、後継者の人的交流・情報交換を通して、新たな事業連携の可能性を広げ、新分野進出等を目指す。
4	北播磨の名水を活かした商品開発と異業種交流による地域活性化	多可町商工会異業種交流グループ	多可町商工会	平成の名水百選に選定された「松か井の水」を活用し、名水の効能や歴史・文化・伝承ストーリー等の付加価値を加えた商品の開発・販売を目指す。
5	かみかわブランド創出事業	神河町経営者協会	神河町商工会	異業種の企業等が新商品開発等を目指して交流を実施し、「かみかわブランド」の創出を図る。
6	ブランド向上・販促研究会	福崎町商工会名品研究会	福崎町商工会	自社商品・サービスのレベルアップ及び事業者間の連携資源の掘り起しを行い、連携による新商品開発、新分野進出等を目指す。
7	異業種交流における課題解決及び新製品・商品開発事業	上郡町商工会法人部会	上郡町商工会	個々の企業単独では取り組みにくい課題や目標を設定し、それぞれの技術やノウハウを生かした新しい製品やサービスの開発を目指す。
8	木材の品質管理高度化支援事業	簡易木材強度計開発グループ	宍粟市商工会	建築木材の強度を簡易かつ高い精度で測定できるシステムを活用し、低価格木材強度計としての商品開発を行う。
9	地域経済再生に向けた仕組みづくり事業	豊岡市商工会工業部会	豊岡市商工会	個々の参加企業のレベルアップや横断的なネットワークの構築を図るセミナー・交流会を開催し、新分野進出、販路開拓等を目指す。
10	異業種交流グループ販路拡大事業	養父市商工会交流グループ	養父市商工会	参加企業の連携による営業力・販売力の強化を図り、展示会出展等を通じた販路の拡大を目指す。
11	工業部会異業種促進事業	丹波市商工会工業部会	丹波市商工会	参加者間の交流を深め、各企業が抱える課題について、異業種ならではの観点から企業連携や販路開拓等の具体的な解決を目指す。
12	マーケット・インを意識した「丹波ーガーのたれ」の地域浸透計画	新しい篠山（ちいき）の味創造委員会	篠山市商工会	H25年度に開発した「丹波ーガー（ご当地バーガー）のたれ」について、地域の小売店・飲食店やイベントとの連携及び各種メディアを活用した戦略により、販売拡大や新商品開発を目指す。
13	こだわり農業の魅力、土壌改良開発連携事業	五色町異業種交流グループ	五色町商工会	畜産農家から出る糞尿をたい肥として地域内の田畑の土壌改良に循環させる仕組みを構築し、たい肥を商品化するとともに、島内外への情報発信等による農産物のブランド化を目指す。
14	淡路島「御食国ブランド」の構築	南あわじ市商工会異業種交流推進協議会	南あわじ市商工会	食・観光に関係する事業者や大学が連携した商品を開発し、淡路島「御食国ブランド」の確立及び販路開拓等を目指す。

■兵庫工業会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	地域企業連携による「ものづくり力」強化事業	生産技術ボトムアップ研究会	兵庫工業会	現場レベルの連携による在庫圧縮・リードタイム短縮などの生産現場の問題解決や相互の技術と強みを活かした新事業展開を目指す。
2	ものづくり企業経営者間水平連携検討事業	くすのき会分科会		企業経営者が互いの現場を訪問して問題提起を行い、その解決策を各参加者の「技術」「製品」等により提案する中で、連携による新分野進出等を目指す。

■兵庫県工業技術振興協議会

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	NSK新規ビジネス開拓	NSKビジネス検討会	兵庫県工業技術振興協議会	ジェスチャー等で入力できる次世代入力支援装置のニーズ調査を高齢者施設やスポーツ施設等を対象に実施し、「売れる商品」の開発プラン構築を行う。
2	酒造業者向け税務記帳アプリの研究開発事業	酒造業アプリの開発グループ		酒造業者が使用する特殊な票帳を自社向けにカスタマイズし、記入作業・管理業務の改善を可能とする携帯端末向けアプリの開発を行う。
3	加圧プロセスによる高品質アルミ合金鋳物の製造	鋳造魂		高品位の複雑形状・薄肉アルミ合金鋳物の製造技術確立するとともに、各種メディアとの連携を通じた情報発信に取り組み、自動車・バイクエンジン部品としての供給を目指す。
4	新規取得微生物を用いたオール播磨ブランドの構築	播磨広域連携オール播磨ブランド創成グループ		風土記ゆかりの神社で採取した新規酵母を用いて新酒を開発するとともに、ストーリー性やデザインの要素を付加したブランド化及び小売、飲料業界との連携による販路開拓を行う。

異業種交流グループ(令和3～4年度活動)の アンケート調査結果

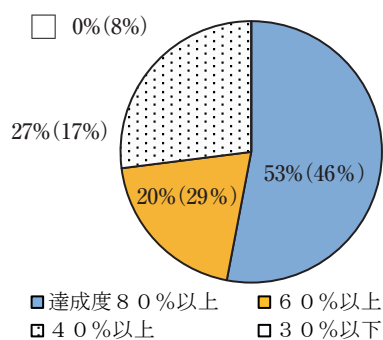
令和4年度で活動を終えた15グループへのアンケート調査では、「新商品開発等への意識の向上」「ビジネスの視野が拡大」「新たなビジネスパートナーの発掘」における評価が高かった一方、新型コロナウイルス感染症の影響等から、「グループとしての意思決定に時間がかかる」との評価も一部あった。

※ 以下 円グラフ（ ）内は、前年度の調査結果〔対象：令和3年度で活動を終えた24グループ〕

1 テーマ・目標の達成度

新商品の開発や販路開拓などの具体的な成果があり、達成度80%以上となったグループは増加したが、達成度60%以上及び80%以上としたグループを合わせた割合は前年度並みであり、新型コロナウイルス感染症の影響が一部残ったものと推測される。

◆テーマ・目標の達成度



[達成度は10%区分で評価]

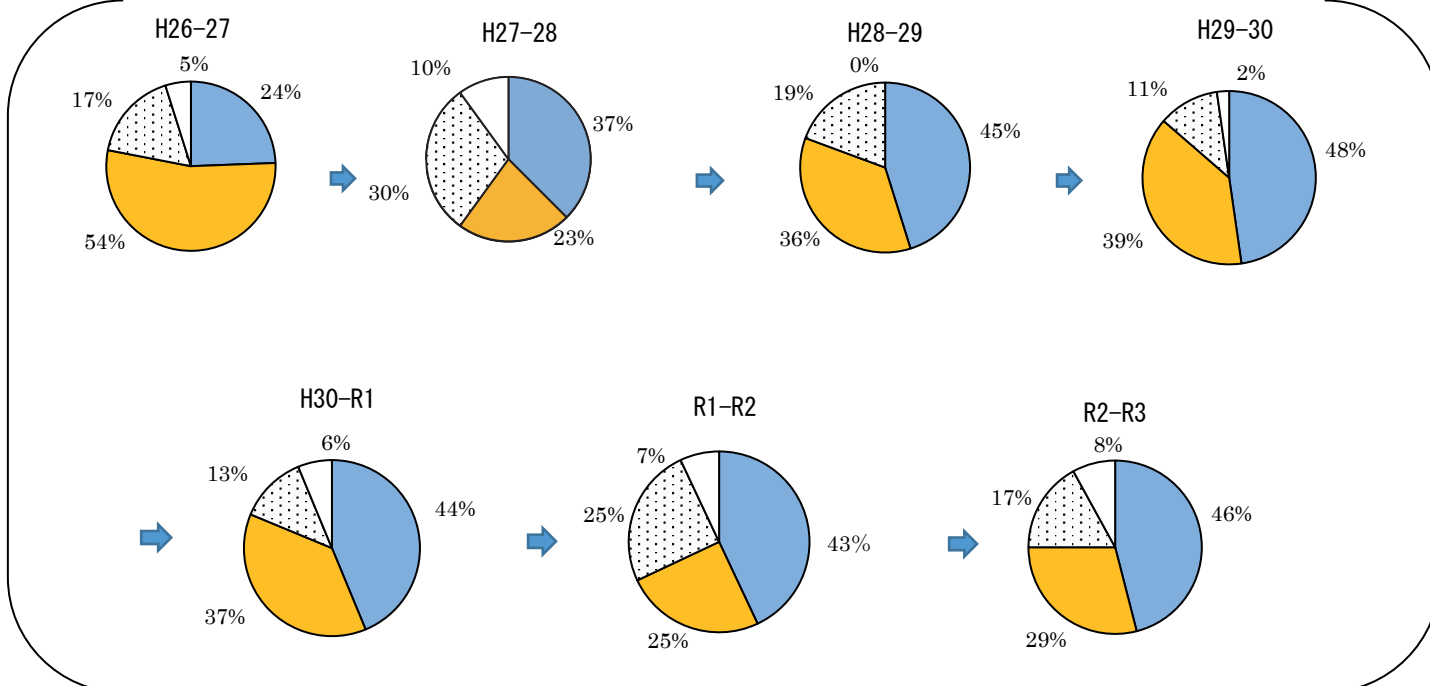
【具体的に進捗した内容・成果】

- ・商店街の空き店舗を「企業内起業空間」として活用し、会社の枠を超えて中小企業の社員が交流・意見交換を通じて新たなビジネスの発掘を行い、新商品を開発・販売した。
- ・同一地場産業に携わる卸売業者と製造業者が、協業でそれぞれの得意技を補完しあい、業界全体で一つの会社のように取り組み、試作品の共同制作や新製品の開発を行ったほか、展示会への出展を通じてユーザーやバイヤーの意見を参考にした新製品が増え、PRも展開できた。
- ・耕作放棄地を利用した原料の栽培から製品づくりまで6次産業化を推進し、地域性を活かした製品を開発したほか、障がい者などの就職困難者の方の仕事の創出を行った。
- ・新たな商品だけでなく、一人の経営者を生み出すことができた。また、地域になかった食品製造業ができたことで、地域資源の加工方法に広がりが出た。

【進捗しなかった理由】

- ・コロナ禍の影響により、飲食業界が大打撃を受けたため、まずは自企業の安定経営を図るべく、勉強会は二の次になってしまった。
- ・コロナ禍の影響にて全メンバーが集まっていた会議は難しく、リモート開催で行うこととなった。

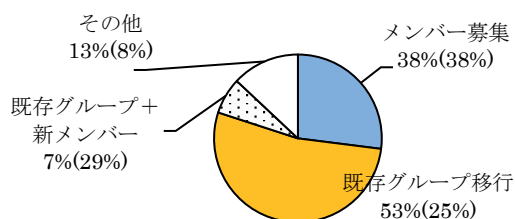
(参考)



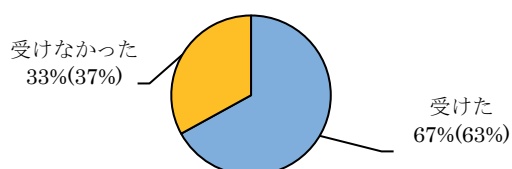
2 異業種グループの運営方法

オンラインの普及とコロナ禍の収束により、「メンバー間で十分な意見交換がよかった」は昨年度に比べて増加した。「普通」と合わせると94%となり、総じてグループ活動が復活してきているものと思われる。

◆事業開始時のグループの組成方法

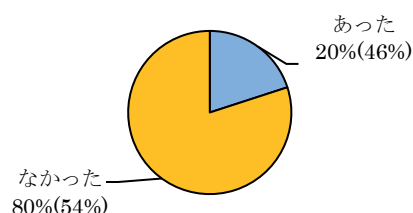


◆専門家の指導・助言を受けたか

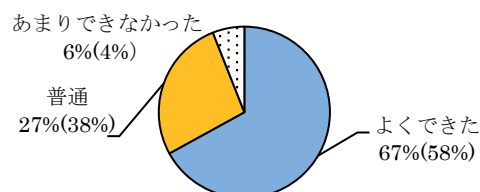


【指導・助言を受けた専門家】
産業活性化センター専門家（中小企業診断士）・広報ジャーナリスト・販路開拓アドバイザー・戦略コンサルタント・SDGs専門家・料理研究家

◆事業開始後の新たなメンバーの追加



◆メンバー間で十分な意見交換ができた



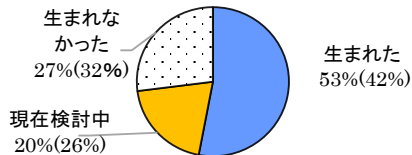
【意見交換ができた例】

- ・月例ミーティングで積極的な発言が多く、議論が深められた。
- ・メンバーのチーム分けを行ったことで活動がスムーズになり、細かな部分まで意見交換できた。
- ・展示会への出展に向けて明確な目標を持ち、定期的な会議の開催によって綿密な情報交換ができた。

3 異業種交流を通じた波及成果

異業種交流を通じた波及効果として、「メンバー間の新たな取引関係」「メンバー間のノウハウ提供」「メンバー企業の能力向上や人材育成」は昨年度に比べて増加した一方、「メンバー企業や商品・サービス等の知名度・信用力の向上」は減少している。

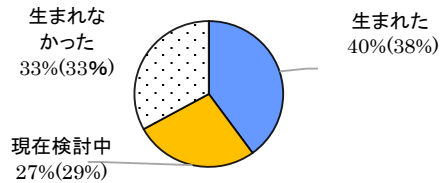
◆メンバー間の新たな取引関係



【具体例】

- ・メンバー間での意見交換により、新たな取引の開始に繋がった。
- ・メンバーが進める新規事業に他のメンバーが参画することになった。

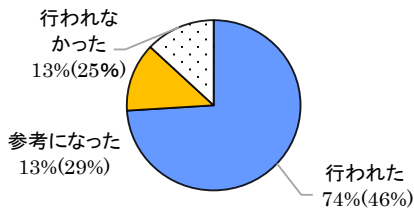
◆メンバー間の新商品・新サービスの開発



【具体例】

- ・メンバーの独自プロジェクトに他のメンバーが取引先を紹介して新商品開発への連携が進んだ。
- ・異業種交流で学んだ技術を使った新商品の開発を検討することになった。

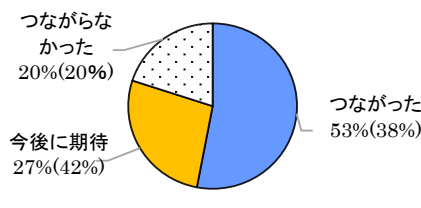
◆メンバー間のノウハウ提供



【具体例】

- ・クラウドファンディング活用時のノウハウを交換できた。
- ・メンバーからの助言により、社内のDX化の試みが進んだ。

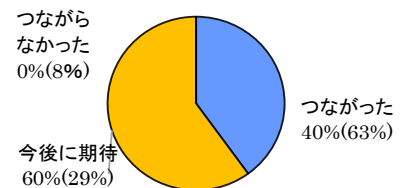
◆メンバー企業の能力向上や人材育成



【具体例】

- ・物産展での見せ方など、市場浸透手段を学んだ。
- ・製品化されたアイテムが数多く出たことで、メンバーの従業員の意識が高まった。
- ・他のメンバーの取り組みを通じて、企業内起業の重要性を認識した。
- ・就職困難者の社会参加意欲の向上に繋がった。

◆メンバー企業や商品・サービス等の知名度・信用力の向上

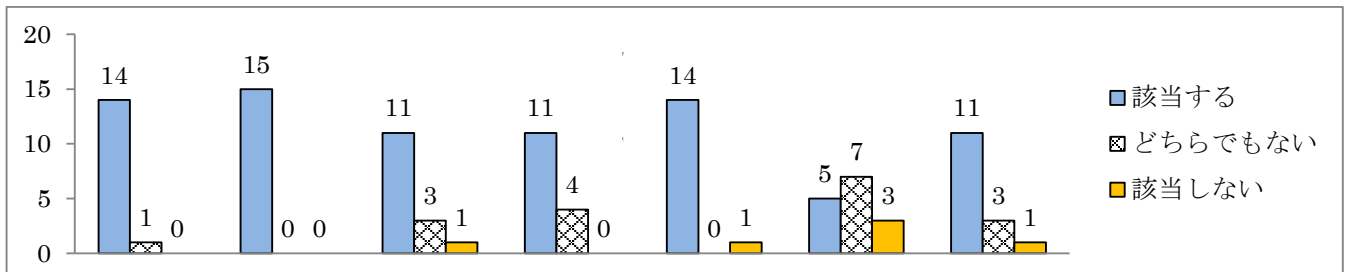


【具体例】

- ・今回の異業種グループ事業が、SDGsの普及を目指す全国的な賞(岩佐賞)の受賞に繋がった。
- ・業界関連の著名なYou Tuberに新商品を紹介され、メンバー企業の知名度が高まった。

4 異業種交流活動の評価

異業種交流活動に対しては、「新商品開発への意識の向上」「ビジネスの視野が拡大」「新たなビジネスパートナーの発掘」について、高く評価しているグループが多く見られた。



新たなビジネスパートナーや事業連携の可能性を発掘するきっかけがつかめる

消費者目線にたった新商品、新サービス、新技術開発を意識するようになる

社外の経営資源を活用した新たなビジネスの創出に有効である

他者の目を借りて自社ではわからなかった長所や短所に気づける

異業種の人と交流することができビジネスの視野が広がる

グループとしての意思決定に時間がかかる

自社のビジネスの発展につながる

